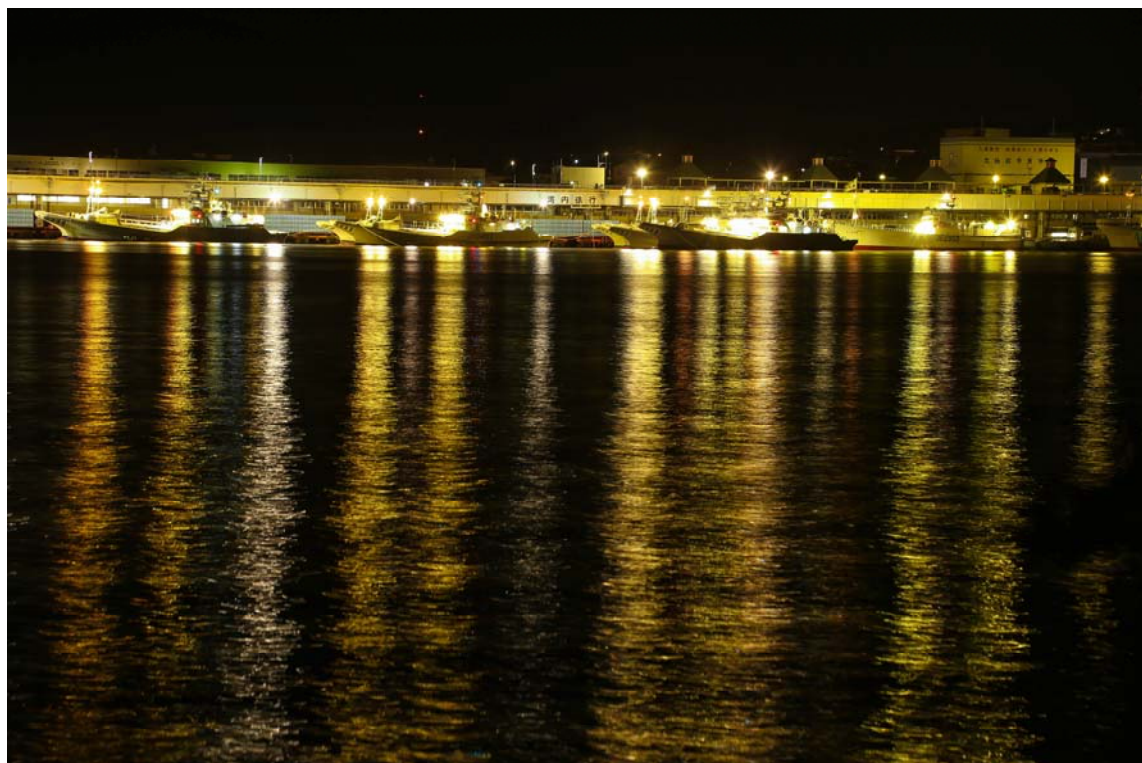


消 防 年 報

平 成 25 年 版



第8回リアス四季フォトコンテスト 「煌湾」 伊藤 和臣 氏

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部
(平成 26 年刊行)

は し が き

この年報は、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合の消防事情を広く紹介するとともに今後の消防行政の資料として活用するために当組合の現勢並びに平成25年中の警防、予防、救急業務等の実態を収録したものです。

本書により消防の実態をご理解頂ければ幸いです。

平成26年9月

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部

目 次

沿 革	1
圏域管内図，位置及び管内情勢	12
組合組織図	13
庁舎，待機宿舎の位置	14
総 務	
予 算	
平成 26 年度当初歳入歳出予算	16・17
平成 26 年度（当初）組合消防費にかかる性質別歳出の財源内訳	18
平成 26 年度（当初）構成市町の一般会計と消防予算	18
平成 25 年度（決算）構成市町負担金負担割合	18
決 算	
平成 25 年度歳入歳出決算	19・20
職 員	
配 置 状 況	21
階級別勤続年数	22
階級別年齢	23
年齢構成図	24
学校等教育状況	25
特殊技能資格取得状況	26
予 防	
防 火 対 象 物	
消防法第 17 条対象物数	28
用途別消防用設備等の設置状況	29
用途別予防査察状況	30
用途別中高層建築物の現況	31
防火管理者を要する対象物	32
建 築 同 意 事 務	33
危 険 物	
危 険 物 施 設	34
危険物施設の予防査察実施状況	35
危険物事務処理件数	36
民間防火組織	
危険物安全協会結成状況	37
防火管理者協会結成状況	37

幼年消防クラブ結成状況	38
少年消防クラブ結成状況	38
婦人防火クラブ結成状況	38

警 防

消 防 車 両

消防車両等の配置状況	40
消防車両等の配置現況	41

消防力の整備指針と現有

消防本部・署所の人員	42
署所及び動力消防ポンプの基準と現有	43・44

消 防 水 利

管内水利状況	45
--------	----

通 信

通信施設の現況	47
119番受信件数	48・49
通 信 系 統 図	50

気 象

気 象 統 計	51
気象情報等受信件数	52

管内消防団

組 織 機 構 図	54・55
組 織	56
階級別消防団員数	56
年齢別消防団員数	56
在職年数別消防団員数	57
消防団員報酬	57
消防施設の現況	57

火災・救急統計

火 災 統 計

火災件数及び損害額の推移	59
火災発生状況（暑所別）	60
〃（覚知別）	61
〃（月 別）	62・63
月別火災発生状況	64
曜日別火災発生状況	65

時間別火災発生状況	65
原因別火災発生状況・損害額	66
建物用途別火災発生状況（火元）	67

救 急 統 計

救急活動の推移	68
月別事故別活動状況	69
暑所別事故別活動状況	70
暑所別出場件数	71
救急隊員が行った応急処置件数	72
事故種別出場件数	72
月別出場件数	73
時間別出場件数	73
曜日別搬送人員	74
傷病程度別搬送人員	75
年齢別搬送人員	76
医療機関別搬送人員	77
不搬送等状況，診療科目別搬送人員，転送回数別搬送人員，覚知別出場件数	78
応急手当講習受講者状況	78

防災センター

防災センターの概要	80
月別・地域別利用状況	81
月別・曜日別利用状況	82
利用者別状況	83
主 な 備 蓄 品	83

沿革

昭和46年 7月21日	宮城県知事から広域市町村圏の指定受ける。
8月 2日	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合設立。
昭和47年 4月 1日	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部発足。
〃	初代消防長に加藤留七就任。
〃	広域消防職員として前気仙沼市消防本部職員 55 人を任用、18 人新規採用。(消防職員定数 155 人)
4月10日	宮城県より危険物規制事務を引き継ぐ。
4月15日	消防常備化市町村の指定(郡内5町)を受ける。
8月 4日	消防職員 16 人を採用。
12月 1日	広域消防の業務開始。(1本部、2消防署、1分署、4出張所)
12月 4日	消防職員 15 人を採用。
12月20日	志津川消防署庁舎落成。
12月25日	志津川消防署津山出張所庁舎落成。
昭和48年 1月 7日	気仙沼消防署本吉分署庁舎落成。
1月18日	志津川消防署歌津出張所庁舎落成。
1月24日	広域消防間の相互応援協定締結。(石巻、塩釜、登米、大崎の各広域消防本部)
1月25日	気仙沼消防署唐桑出張所庁舎落成。
1月30日	管内各消防無線固定局開局。
1月31日	広域消防開庁祝賀会。
3月15日	気仙沼消防署に救急自動車 1 台配置。
3月23日	広域消防間の相互応援協定締結。(岩手県両磐地区、陸前高田市の各消防本部)
3月25日	(財)日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
4月 2日	消防職員 21 人を採用。
4月24日	気仙沼本吉地区危険物安全協会結成。
6月20日	救急業務市町村の指定(郡内5町)を受ける。
7月19日	干害対策本部を設置。
8月 2日	消防職員 14 人を採用。
8月23日	志津川消防署に消防ポンプ自動車 1 台を配置。
10月 1日	気仙沼海上保安署と業務協定締結。
昭和49年 3月 2日	消防職員(船舶職員) 3 人を採用。
3月31日	気仙沼消防署「望楼」勤務を廃止。(昭和 12 年建設、昭和 60 年撤去)
4月 4日	消防職員 10 人を採用。
4月16日	気仙沼消防署臨港出張所落成。
〃	消防艇「あさぎり」配置。
7月30日	第 1 回消防職員技術大会実施。(以後毎年実施)

昭和49年12月 5日	志津川町防火管理者協会結成。
昭和50年 3月14日	気仙沼市で市民消防学校を開催。
6月 2日	消防職員 1 人を採用。
6月10日	昭和 50 年度宮城県総合防災訓練を気仙沼市内の脇地区において実施。
7月 1日	消防職員 1 人を採用。
9月11日	(財)日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
10月 1日	第 2 代消防長に村上栄就任。
11月13日	「第 8 なか丸」歌津沖で転覆事故。気仙沼港に曳航、人命捜索救助活動を行う。
昭和51年 3月23日	志津川町で町民消防学校を開催。
6月 8日	消防本部庁舎増築落成。
8月20日	本吉町防火管理者協会結成。
12月 2日	気仙沼市大島地区に駐在員 2 人を派遣。
12月10日	本吉町で町民消防学校を開催。
12月18日	唐桑町で町民消防学校を開催。
昭和52年 2月 1日	消防音楽隊を結成。(隊員 25 人)
3月11日	歌津町で町民消防学校を開催。
3月19日	津山町で町民消防学校を開催。
3月30日	気仙沼信用金庫から救助工作車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
4月11日	津山町防火管理者協会結成。
10月28日	気仙沼消防署と志津川消防署に作業車を更新配置。
11月 2日	気仙沼消防署に指令車を更新配置。
11月12日	唐桑町防火管理者協会結成。
11月19日	気仙沼市大島地区で市民消防学校を開催。
昭和53年 4月 1日	消防職員 3 人を採用。
4月 3日	消防本部と志津川消防署の消防救急通信指令装置が完成。
6月12日	宮城県沖地震。
7月27日	第 7 回全国消防救助技術大会(千葉市)において水中検索の部に高崎秀敏消防士出場。
12月 1日	広域行政事務組合が理事制に移行。
昭和54年 3月20日	本吉町で同時大規模林野火災発生。(12ha・5 ha) 管内消防団、登米広域消防本部及び両磐広域消防本部の応援を受ける。
4月 6日	気仙沼消防署大島出張所庁舎落成。
4月20日	消防本部指令車を更新配置。
4月26日	昭和 54 年度宮城県林野火災防ぎょ訓練を歌津町田束山において実施。
6月16日	唐桑町で少年消防クラブ結成。
12月13日	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合職員互助会発足。
12月25日	(有)気仙沼モータースから人員搬送車の寄贈を受け、消防本部に配置。
12月26日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車を更新配置。

昭和54年12月26日	気仙沼消防署に屈折梯子車を配置。
昭和55年 5月29日	第3回全国消防職員意見発表大会（東京都）において錦部照夫消防士長最優秀賞を受賞。
6月 1日	志津川町、歌津町及び津山町の消防職員待機宿舎完成。
6月10日	消防本部に査察車を更新配置。
8月28日	(財)日本船舶振興会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
9月 1日	昭和 55 年度宮城県総合防災訓練を気仙沼市館山地区で実施。
9月18日	気仙沼消防署唐桑出張所、志津川消防署歌津出張所及び津山出張所に防火広報車を配置。
10月 1日	第3代消防長に畠山誠就任。
11月21日	歌津町防火管理者協会結成。
12月19日	気仙沼消防署南出張所に消防ポンプ自動車を更新配置。
12月27日	宮城県知事から空中消火用資機材の保管を委託され、志津川消防署で管理。
昭和56年 1月10日	(財)日本船舶振興会から防火広報車の寄贈を受け、消防本部に配置。
4月 1日	消防職員 4 人を採用。
6月 4日	歌津町で幼年消防クラブ結成。
8月11日	気仙沼本吉地区婦人防火クラブ連合会結成。（1市5町）
11月30日	気仙沼消防署本吉分署に査察車、志津川消防署に指令車を更新配置。
12月14日	(社)日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受け、志津川消防署津山出張所に配置。
昭和57年 2月25日	唐桑町の消防職員待機宿舎完成。
3月17日	気仙沼消防署本吉分署に救急自動車を更新配置。
3月19日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車を配置。
4月 1日	第4代消防長に川合昭伍就任。
〃	消防職員 3 人を採用。
4月11日	気仙沼市魚市場に係留中の「第11 豊洋号」（ブンヤン号）においてアンモニアガス噴出事故発生。死者 8 人、負傷者 6 人。 この救助活動に従事した職員及び団体の功績に対し、(財)宮城県消防協会長から「功労章」、(財)日本消防協会長から「現場功労章」、宮城県知事から「顕彰状」、消防庁長官から「功績章」が授与され、内閣総理大臣から当消防本部に対して昭和 58 年度「防災功労章」が授与された。
6月10日	気仙沼市で幼年消防クラブ結成。
7月12日	津山町で幼年消防クラブ結成。
7月30日	第 25 回宮城県消防操法大会を気仙沼市で開催。
8月24日	(財)日本消防協会から緊急用ろ水器が寄贈され、気仙沼消防署と志津川消防署に配置。
9月 9日	「救急の日」制定。
12月 1日	気仙沼消防署に照明電源車を配置。
昭和58年 1月30日	志津川消防署に救急自動車を更新配置。
3月 9日	志津川町で幼年消防クラブ結成。

昭和58年 3月30日	本吉町の消防職員待機宿舍落成。
6月 2日	第6回全国消防職員意見発表大会(京都府)において芳賀保宏消防士優秀賞を受賞。
昭和59年 3月16日	宮城県知事から「林野火災特別地域」の指定を受ける。
4月 1日	消防職員3人を採用。
7月10日	宮城県防災気仙沼消防無線局を開局。
7月20日	本吉町で少年消防クラブ結成。
12月 4日	本吉町で幼年消防クラブ結成。
昭和60年 2月 8日	志津川消防署に水槽付消防ポンプ自動車を配置。
2月15日	異常気象(厳冬による消防水利確保困難)のため「火災警報」を発令。
3月12日	気仙沼消防署本吉分署に水槽付消防ポンプ自動車を配置。
4月 1日	消防職員3人を採用。
6月 1日	宮城県防災気仙沼消防無線局にファクシミリ開通。
8月 1日	消防衛生管理規程を制定。
8月19日	異常渇水のため消防対策本部を設置。(9月2日まで継続)
8月23日	第14回全国消防救助技術大会(広島市)において伊藤大志消防士「ロープ登はんの部」で入賞。
8月26日	(財)日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
10月 8日	第32回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
11月25日	産業医(猪苗代勇医師)を嘱託。
11月27日	第1回「火災予防キャンペーン」実施。(以後毎年実施)
12月18日	国道45号線安波山トンネル開通に伴う関係機関合同総合訓練。(以後隔年実施)
昭和61年 1月 6日	消防出初式に「梯子乗り」登場。
3月 8日	「消防表彰式」を創設。(以後毎年実施)
3月10日	(財)日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
3月27日	志津川消防署歌津出張所、津山出張所に消防ポンプ自動車を更新配置。
4月 1日	消防職員2人を採用。
8月 5日	台風10号くずれの低気圧により宮城県全域で大雨洪水による被害多発。
10月16日	気仙沼市で「幼年消防フェア」を開催。
11月27日	気仙沼消防署唐桑出張所、志津川消防署歌津出張所に広報車を更新配置。
〃	広域組合消防計画書を策定。
昭和62年 3月18日	気仙沼消防署に指令車更新配置。
3月26日	「火災警報」を発令。
5月15日	異常渇水のため消防対策本部を設置。
5月28日	第10回全国消防職員意見発表大会(横浜市)において佐藤武敏消防士長優秀賞受賞。
8月 1日	広域組合消防安全管理規程を制定。
8月12日	第30回宮城県消防操法大会を志津川町で開催。
9月 1日	(財)日本船舶振興会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
10月23日	気仙沼消防署、志津川消防署に作業車を更新配置。

昭和62年11月 9日	「119番の日」制定。
11月17日	(株)アーバンから防災指揮車の寄贈を受け、消防本部に配置。
12月19日	危険物安全協会創立30周年記念式典の開催。
昭和63年 4月 1日	東京消防庁への研修派遣制度導入。(計8人研修)
6月 4日	気仙沼市で少年消防クラブ結成。
8月19日	第17回全国消防救助技術大会(横浜市)において伊藤大志消防士「ロープブリッジ渡過の部」で入賞。
10月 7日	志津川消防署津山出張所に広報車を更新配置。
平成元年 1月29日	4週6休実施。
2月21日	宮城県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
4月18日	平成元年度宮城県林野火災防ぎょ訓練を気仙沼市太田放牧地において実施。
8月 8日	(有)気仙沼モータースへの車両整備技術取得研修派遣制度導入。(8名研修)
12月25日	唐桑町で幼年消防クラブ結成。
平成 2年 2月21日	広域組合の休日定める条例を制定。
3月29日	消防訓練塔落成。
3月31日	消防職員高齢化対策で職員2人退職。(4月1日付で気仙沼市へ身分移管)
4月 1日	消防職員3人を採用。
4月26日	第13回全国消防長会東北支部意見発表大会(新潟市)において森淳一消防士長優秀賞を受賞。
5月17日	第41回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
7月 6日	第15回宮城県消防救助技術指導会を気仙沼市で開催。
8月24日	第19回全国消防救助技術大会(広島市)において志津川消防署隊「ロープブリッジ救出の部」で入賞。
9月 1日	9. 1宮城県総合防災訓練を志津川町で開催。
平成 3年 2月25日	消防本部に人員輸送車配置。
〃	人員輸送車運行管理要綱制定。
3月31日	消防職員高齢化対策で職員1人退職。(4月1日付で気仙沼市へ身分移管)
4月 1日	第5代消防長に若杉市郎就任。
〃	消防職員2人を採用。
〃	(財)日本消防協会へ1人を研修派遣。
8月28日	第20回全国消防救助技術大会(大阪府)において伊藤大志消防士「ロープブリッジ渡過の部」で入賞。
9月 9日	カメイ(株)から広報車の寄贈を受け、消防本部に配置。
10月 1日	消防職員高齢化対策で職員1人を広域組合に研修派遣。
〃	宮城県防災航空隊に職員1名派遣。
12月 9日	気仙沼消防署・本吉分署・志津川消防署・津山出張所に救急応急処置範囲の拡大に伴う9点セットを配置。

平成 4年 3月21日	岩手県東磐井郡室根村地内の大川にタンクローリー仰転、重油流出により「大川油流出事故対策本部」を設置、消防職・団員及び自衛隊（第 22 普通科連隊）が災害復旧活動に従事。（4 月 14 日対策本部解散） また、3 月 24 日から 3 日間、広域消防相互応援協定に基づき、大崎広域消防本部・塩釜地区消防本部・両磐地区消防本部からのタンク車による応援を受けた。
3月31日	志津川消防署、気仙沼消防署本吉分署に指令車と査察車を更新配置。
〃	消防職員高齢化対策で職員 4 人退職。（4 月 1 日付で広域組合・唐桑町・本吉町・津山町へ身分移管）
4月 1日	消防職員 4 人を採用。
〃	宮城県広域航空消防応援協定締結。
8月28日	第 21 回全国消防救助技術大会（千葉市）において伊藤大志消防士「ロープブリッジ渡過の部」で入賞。
9月 4日	（財）日本防火協会より防火広報車の寄贈を受け、消防本部に配置。
10月21日	第 8 回全国婦人消防操法大会（横浜市）において津山町婦人消防隊が準優勝。
10月30日	「広域組合設立・広域消防発足 20 周年記念式典」を開催。浅野大三郎消防庁長官が記念講演。
平成 5年 2月 1日	4 週 8 休実施。
2月 8日	気仙沼三菱自動車販売㈱より連絡広報車の寄贈を受け、気仙沼消防署大島出張所に配置。
3月31日	消防職員高齢化対策で職員 1 人退職。（4 月 1 日付で志津川町へ身分移管）
4月 1日	消防職員 1 人を採用。
〃	消防職員定数を 187 人に改正。
4月18日	津山町で大規模林野火災発生（10ha 焼失）管内消防団の応援を受ける。
10月 1日	気仙沼消防署唐桑出張所に救急自動車（2 B 型）を配置。
10月26日	消防本部・気仙沼消防署・広域防災センター新庁舎落成。
平成 6年 1月31日	気仙沼消防署南出張所廃止。
2月 1日	消防本部・気仙沼消防署新庁舎で業務開始。
〃	消防緊急通信指令施設開通式（1 1 9 番統合）。
〃	気仙沼・本吉広域防災センター条例施行。
〃	気仙沼・本吉広域防災センター職員辞令交付（全員併任発令）。
〃	気仙沼消防署南町出張所設置（臨港出張所併合）職員 8 人配置。
2月28日	消防緊急通信指令施設（Ⅱ型）完成。
3月23日	気仙沼消防署に高規格救急自動車配置。
3月29日	消防本部・気仙沼消防署・広域防災センター新庁舎落成式。
4月 1日	消防職員 7 人を採用。
〃	「気仙沼・本吉広域防災センター」オープン。
5月25日	救急救命士国家試験（1 人）合格。（以降毎年度養成）
8月12日	異常渇水による消防対策本部設置（8 月 22 日まで）。

平成 6年 9月30日	財日本損害保険協会から救助工作車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
10月27日	第 50 回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
11月13日	広域防災センター入館者 10,000 人達成。
平成 7年 2月 1日	地震津波災害警防計画を作成。
3月20日	気仙沼消防署南町出張所に消防ポンプ自動車を更新配置。
4月 1日	消防本部に通信指令室を設け通信情報係・通信管理係を置き、消防署に救急係・救助係を配置し、分署に警防係・予防係を配置。
〃	消防職員 8 人採用。
5月 9日	旅客船「くろさき」岸壁衝突事故。負傷者 149 人。
7月14日	広域防災センター入館者 20,000 人達成。
8月22日	当消防本部が緊急援助隊救急部隊に登録される。
8月25日	第 24 回全国消防救助技術大会（北九州市）において、志津川消防署「引揚救助の部」で入賞。
12月 1日	宮城県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、歌津出張所に配置。
12月15日	気仙沼消防署大島出張所に消防ポンプ自動車を更新配置。
平成 8年 4月 1日	第 6 代消防長に熊谷昭一就任。
〃	消防職員 7 人採用。
5月26日	広域防災センター入館者 30,000 人達成。
10月11日	消防職員委員会規則公布。
12月11日	第 1 回消防職員委員会開催。（以後毎年開催）
12月19日	第 1 回緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練に参加。（仙台市 20 日まで）
平成 9年 1月 8日	志津川消防署に災害対応特殊救急自動車配置。
2月 3日	気仙沼消防署待機宿舍移転落成。
2月16日	広域防災センター入館者 40,000 人達成。
2月28日	気仙沼消防署臨港出張所廃止。
4月 1日	第 7 代消防長に藤原博就任。
〃	消防職員 6 人採用。
〃	給与振込開始。
7月25日	志津川消防署歌津出張所の広報車を更新、多機能型広報車を配置。
平成10年 2月 8日	広域防災センター入館者 50,000 人達成。
3月 1日	自動車電話・携帯電話 1 1 9 番受付業務を開始。
3月16日	気仙沼消防署に小型動力ポンプ付水槽車を配置。
4月 1日	消防職員 6 人採用。
6月15日	志津川消防署津山出張所に多機能型消防広報車配置。
12月 7日	広域防災センター入館者 60,000 人達成。
12月22日	気仙沼消防署大島出張所に救急自動車（2 B 型）配置。
平成11年 1月25日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車（CD－Ⅱ型）配置。
4月 1日	消防職員 5 人採用。

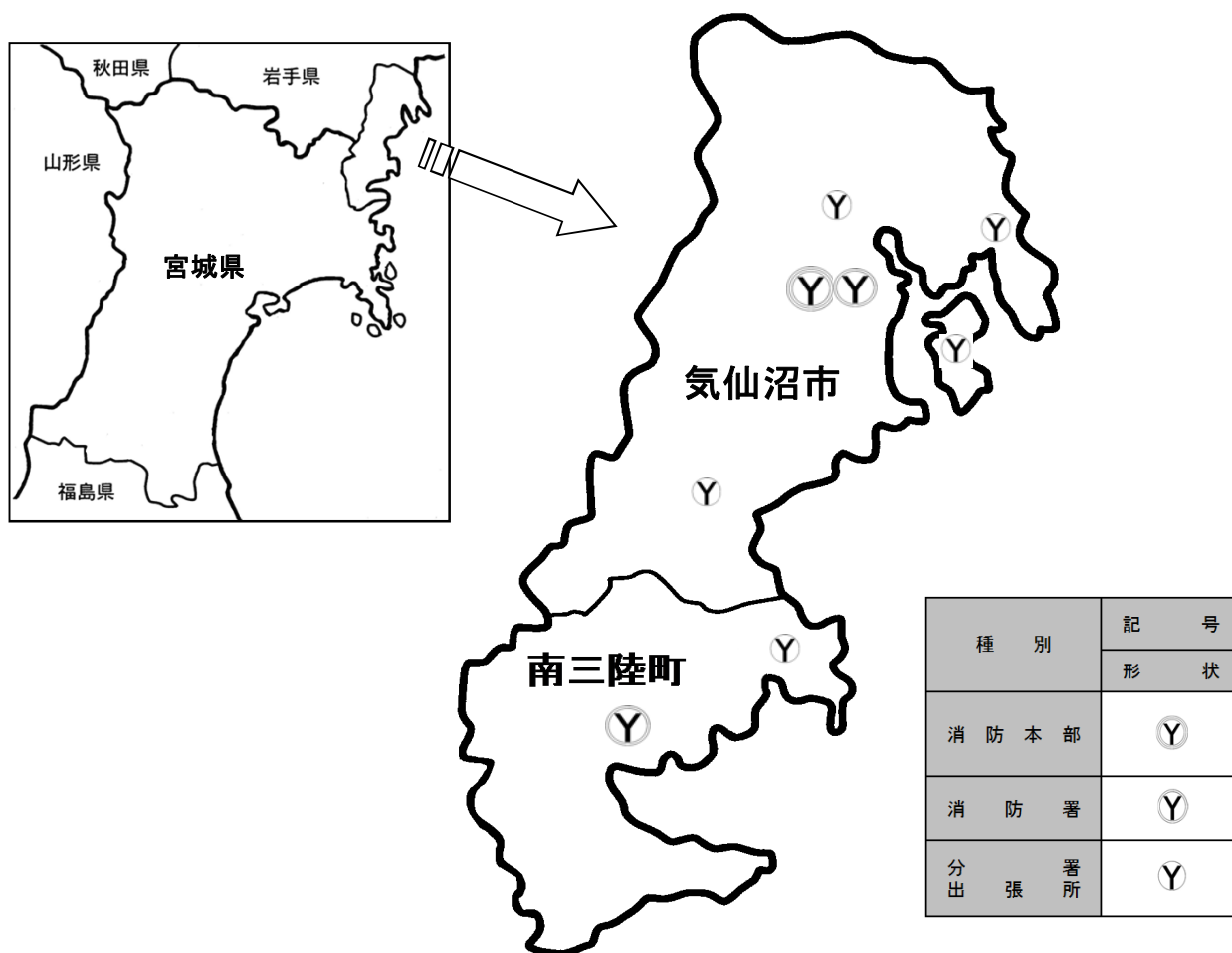
平成11年 4月 1日	消防職員定数を 197 人に改正。
5月13日	第 59 回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
11月12日	志津川消防署に資機材搬送車配置。
12月10日	志津川消防署津山出張所に高規格救急自動車配置。
12月31日	コンピュータ西暦 2000 年問題に伴う警戒。
平成12年 2月 1日	年間訓練計画に基づく水難救助訓練を開始。
3月10日	高速消防救急艇「あさぎり」就航（19t）。
3月15日	志津川消防署歌津出張所新庁舎落成。
3月23日	広域防災センター入館者 70,000 人達成。
4月 1日	消防職員 5 人採用。
〃	権限移譲事務の開始。（煙火消費の許可事務、建設用びょう打ち銃用空砲許可事務、液化石油ガスの設備工事に関する事務）
4月27日	気仙沼消防署本吉分署に高規格救急自動車配置。
7月 7日	気仙沼消防署唐桑出張所に消防ポンプ自動車（CD－I 型）配置。
7月25日	第 41 回宮城県消防操法大会を歌津町で開催。
平成13年 3月31日	広域防災センター入館者 80,000 人達成。
4月 1日	消防職員 6 人採用。
〃	宮城県内航空消防応援協定締結。
〃	防災・消防ヘリコプター24 時間運航開始。
9月20日	「宮城県沖地震長期評価」の発表に伴い、地震・津波対策検討委員会の設置。
11月21日	気仙沼・本吉地域広域テロ対策特別本部の設置。化学防護服を気仙沼消防署、本吉分署、志津川消防署に配備。
12月18日	気仙沼消防署南町出張所に高規格救急車配置。
平成14年 4月 1日	第 8 代消防長に菊田清一就任。
〃	消防職員 5 人採用。
4月17日	平成 14 年度宮城県林野火災防ぎょ訓練を本吉町小泉地区において実施。
5月 8日	広域防災センター入館者 90,000 人達成。
10月 1日	高速消防救急艇あさぎり大島係留業務開始。
10月 9日	組合設立及び広域消防発足 30 周年記念式典。
12月10日	志津川消防署歌津出張所に消防ポンプ自動車（CD－I 型）配置。
12月13日	志津川消防署に水槽付消防ポンプ自動車（I－A 型）配置。
〃	気仙沼消防署本吉分署に水槽付消防ポンプ自動車（I－A 型）配置。
平成15年 2月26日	(社)気仙沼市シルバー人材センターから指揮車の寄贈を受け、消防本部に配置。
3月11日	気仙沼地域メディカルコントロール協議会を設立。
3月26日	気仙沼消防署唐桑出張所に高規格救急車配置。
4月 1日	消防職員 3 人採用。
5月14日	広域防災センター入館者 100,000 人達成。
5月26日	三陸南地震。管内で震度 5 強を観測。

平成15年 6月 4日	地震津波災害活動計画を作成。
7月26日	宮城県北部連続地震。 7月28日から2日間、延べ人員6名を鹿島台町に派遣し、タンク車による応援活動を行った。 この応援活動に対し、消防庁長官から当消防本部に「功労章」が授与された。
8月26日	宮城県消防協会本吉支部の事務局所在地及び業務が、宮城県気仙沼地方振興センターから消防本部へ移管された。
10月 1日	地震津波安全対策担当を配置。
10月23日	第68回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
11月19日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車（BD-I型）配置。
12月 8日	志津川消防署津山出張所に消防ポンプ自動車（CD-I型）配置。
平成16年 4月 1日	消防職員3人採用。
9月 1日	平成16年度9.1宮城県総合防災訓練を気仙沼市階上地区において実施。
〃	緊急通報FAX受信運用開始。
9月30日	広域防災センター入館者110,000人達成。
平成17年 2月23日	当消防本部初の「気管挿管認定」救急救命士誕生。
3月31日	登米市（4月1日）への身分移管に伴う職員10名退職。 広域市町村合併に伴う志津川消防署津山出張所の消防業務事務引継及び閉庁式を実施。
4月 1日	津山町が組合を脱退し、1市4町で組合再編
5月28日	気仙沼港において塩釜海上保安部「巡視船くりこま」潜水隊との合同潜水訓練を実施。
8月16日	8.16宮城県沖地震。管内で震度5弱を観測。
10月 1日	志津川町・歌津町が合併し「南三陸町」となり、1市3町で組合再編。 志津川消防署から南三陸消防署へ名称変更。
12月 2日	南三陸消防署歌津出張所に高規格救急車配置。
平成18年 2月 8日	南三陸消防署に消防ポンプ自動車（CD-I型）配置。
2月13日	広域防災センター入館者120,000人達成。
3月 1日	谷村明信氏から潜水用資機材7式の寄贈を受けた。
3月 3日	気仙沼消防署に災害対応特殊はしご付消防ポンプ自動車配置。
3月31日	気仙沼市・唐桑町が合併し「気仙沼市」となり、1市2町で組合再編。
4月 1日	消防職員8人採用。
9月24日	気仙沼湾に係留中のカツオ船（FRP製）から火災が発生し、約12時間にわたる消火活動が行われた。
10月 6日	宮城県消防職員野球大会決勝大会が南三陸町歌津「平成の森」で行われ、当消防本部が優勝。
10月17日	当広域管内初の「薬剤（エピネフリン）投与の実施に係る認定」救急救命士誕生。

平成18年11月 1日	気仙沼ライオンズクラブから自動体外式除細動器（AED）1台の寄贈を受け、防災センターに配置。
12月26日	気仙沼消防署に水難救助車を配置。
平成19年 1月24日	気仙沼消防署本吉分署に消防ポンプ自動車（CD－I型）配置。
3月28日	宮城県防潮水門遠隔操作システムの操作装置が南三陸消防署に設置され運用開始。
4月 1日	第9代消防長に菅原武人就任。
〃	消防職員7人採用。初の女性消防士誕生。
5月23日	平成19年度大規模津波防災総合訓練（国土交通省主催）が気仙沼市をメイン会場に実施された。
7月 3日	広域防災センター入館者130,000人達成。
平成20年 4月 1日	第10代消防長に齋藤一善就任。
〃	消防職員4人採用。
〃	各暑所に地震津波安全対策担当を配置。
5月22日	第7回全国消防長会警防防災委員会を気仙沼市で開催。
6月14日	平成20年岩手・宮城内陸地震。 宮城県広域消防相互応援協定に基づく応援要請により、6月15日から6月23日まで9日間、延べ人員63名を栗原市に派遣した。
7月24日	岩手県沿岸北部を震源とする地震。管内で震度5強を観測。
7月28日	気仙沼消防署に資機材搬送車を配置。
7月29日	南三陸消防署に指令車、気仙沼消防署本吉分署に査察車を配置。
11月10日	災害情報等の電子メールでの配信を開始。
平成21年 1月 9日	広域防災センター入館者140,000人達成。
3月24日	宮城県防潮水門遠隔操作システムの操作装置が防災センターに設置され運用開始。
4月 1日	第11代消防長に千葉章一就任。
〃	消防職員9人採用。うち1人は救急救命士を採用。
4月28日	救急救命士国家試験（2人）合格。34名。
9月 1日	気仙沼市・本吉町が合併し「気仙沼市」となり、1市1町で組合再編。 事務組合規約を変更、理事会制から管理者制へ移行。
12月28日	気仙沼消防署及び南三陸消防署の高規格救急車を更新配置。
平成22年 3月24日	新人職員人材育成実施計画を作成。
4月 1日	出張所に係を配置。
〃	消防職員7人採用。
4月30日	救急救命士国家試験（2人）合格。36名。
12月 8日	気仙沼消防署に災害対応特殊化学消防ポンプ自動車Ⅱ型を配置。
平成23年 3月11日	東北地方太平洋沖地震 管内で震度6弱を観測 マグニチュード9.0 国内観測史上最大級の地震 名称は「東日本大震災」。 消防職員10名殉職。

	庁舎被害：津波により全壊（南三陸消防署・歌津出張所・南町出張所） 地震による庁舎敷地地盤の沈下・擁壁亀裂（唐桑出張所） 車両等被害：火災及び津波により被災（消防艇 1 艇・指揮車 2 台・資機材搬送車 1 台） 緊急援助隊応援部隊数：1,141 部隊、4,317 名。
4月 1日	消防職員 13 人採用。
〃	嘱託員制度を導入。（4 人）
4月12日	救急救命士国家試験（2 人）合格。35 名。
9月25日	東日本大震災 組合消防職員殉職者合同慰霊祭を実施。
11月 9日	東日本大震災の活動に従事した功績に対し、総務大臣表彰が授与された。
平成24年2月28日	気仙沼消防署南町出張所に消防ポンプ自動車（CD－I 型）を配置。
〃	台湾 洪氏から消防ポンプ自動車（CD－I 型）の寄贈を受け、南三陸消防署に配置。
3月21日	気仙沼消防署大島出張所に指揮車を配置。
〃	南三陸消防署に指揮車及び資機材搬送車を配置。
4月 1日	消防職員 14 人採用。（うち女性 1 人）
〃	再任用制度を導入。（6 人再任用）
4月10日	救急救命士国家試験（1 人）合格。35 名。
9月 1日	東日本大震災の活動に従事した功績に対し、防災功労者内閣総理大臣表彰が授与された。
平成25年 2月18日	J A 南三陸・J A 共済連宮城「地域の安全・安心プロジェクト」により、高規格救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署本吉分署に配置。
3月18日	前田道路株式会社から消防ポンプ自動車（CD－I 型）の寄贈を受け、気仙沼消防署南町出張所に配置。
3月27日	消防救急艇「あさぎり」竣工式。
4月 1日	第 12 代消防長に及川淳之助就任。
〃	消防職員 10 人採用。
〃	消防職員 6 人再任用。
〃	消防指令センター及び消防救急デジタル・アナログ無線施設運用開始。
〃	南三陸消防署及び南三陸消防署歌津出張所仮設庁舎開庁式。
4月 8日	救急救命士国家試験（2 人）合格。36 名。
7月 1日	人事評価制度開始。
6月26日	第 36 回全国消防職員意見発表の一環として、三浦勝郎司令補が東日本大震災被災地消防本部職員意見発表を行った。
平成26年 3月11日	東日本大震災消防職員殉職者慰霊碑・伝承碑建立式。（職員互助会事業）
3月28日	気仙沼消防署に救助工作車（Ⅱ型）を配置。
3月31日	救急救命士国家試験（2 人）合格。37 名。
4月 1日	消防職員 12 人採用。
〃	消防職員 7 人再任用。
7月31日	気仙沼消防署古町出張所落成式。

圏域管内図



位 置 及 び 管 内 情 勢

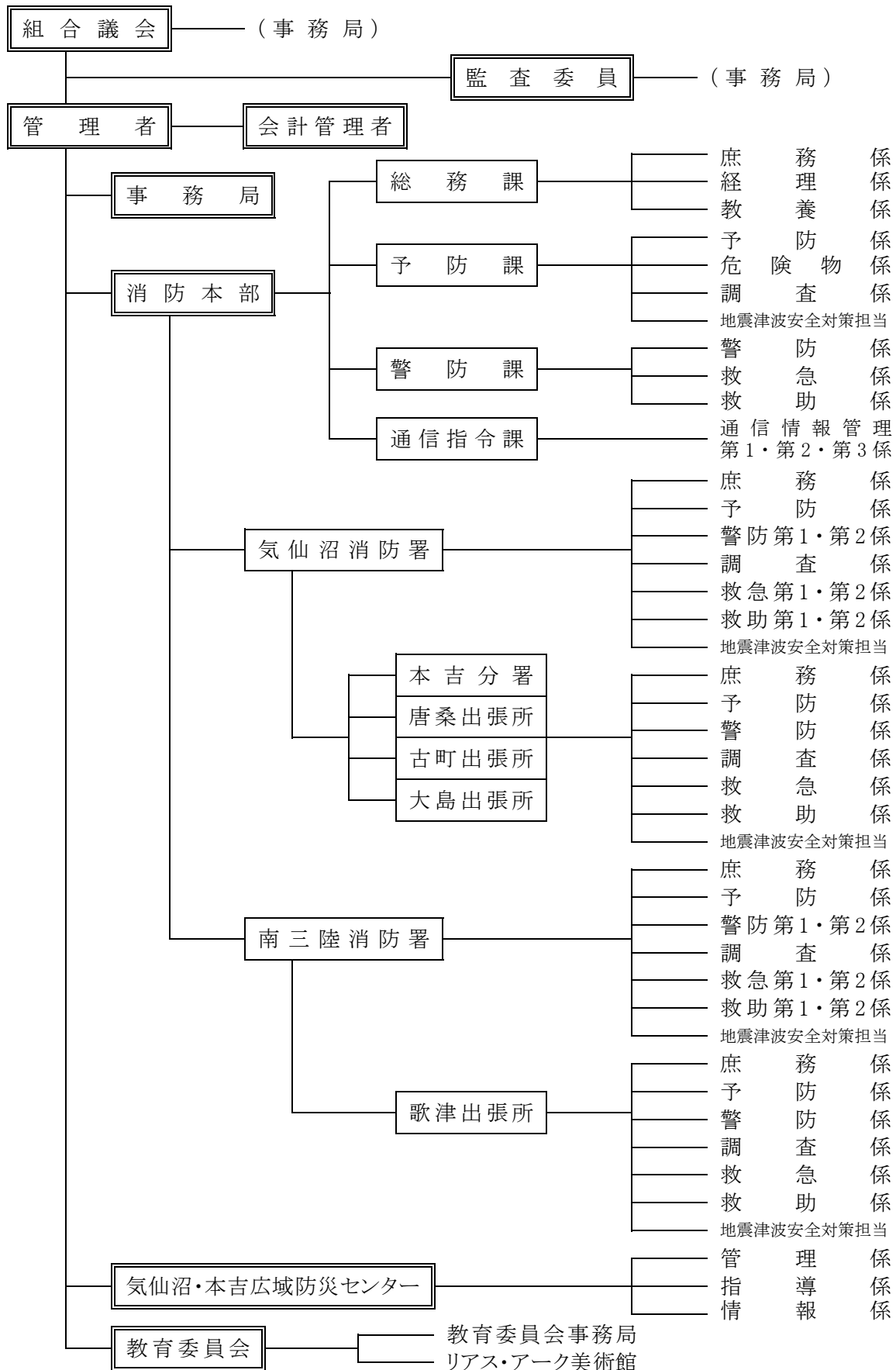
気仙沼・本吉地域は、気仙沼市と南三陸町の1市1町で構成され、宮城県的最北端に位置し、東は雄大な太平洋に面し、西は北上山系の支脈の稜線で、岩手県や宮城県の内陸市町村と接しています。また、太平洋側は、変化に富んだ美しいリアス式海岸で、気仙沼市が三陸復興国立公園に、南三陸町を含む一帯が南三陸金華山国定公園に指定され、多くの観光客が訪れています。

(平成26年7月31日現在)

市 町 名	面 積 (km ²)	世 帯 数 (世帯)	人 口 (人)
気 仙 沼 市	333.41	25,915	67,564
南 三 陸 町	163.74	4,623	14,224
合 計	497.15	30,538	81,788

組合組織図

(平成26年8月1日現在)



庁 舎 位 置

(平成26年8月1日現在)

本 部 ・ 署 所	所 在 地	敷地面積(㎡)	構 造	面 積(㎡)	竣 工
消 防 本 部	〒988-0104 気仙沼市赤岩五駄鱈43-2	6,255.0	鉄筋コンクリート 3階建	建1,700.3 延2,981.4	平5.10
気仙沼消防署					
防災センター					
気仙沼消防署 本吉分署	〒988-0309 気仙沼市本吉町津谷松尾1-1	700.8	鉄筋コンクリート 2階建	建 208.25 延 314.50	昭48.1
気仙沼消防署 唐桑出張所	〒988-0535 気仙沼市唐桑町馬場181-1 (仮庁舎)				
気仙沼消防署 古町出張所	〒988-0077 気仙沼市古町1丁目6-17	1,145.67	鉄筋コンクリート 2階建	建 309.47 延 580.50	平26.7
気仙沼消防署 大島出張所	〒988-0604 気仙沼市廻館113-1	429.4	軽量鉄骨造一部 木造1階建	建 153.7 延 150.9	昭54.3 平14.10増
南三陸消防署	〒986-0725 南三陸町志津川字沼田100-61 (仮設庁舎)	1,751.0	軽量鉄骨造一部 2階建	建 365.14 延 528.94	平25.3
南三陸消防署 歌津出張所	〒988-0423 南三陸町歌津字柗沢28-1 (仮設庁舎)	1,096.2	軽量鉄骨造一部 2階建	建 287.70 延 430.61	平25.3

待 機 宿 舎 位 置

(平成26年4月1日現在)

所 在 地	室 数	構 造	面 積(㎡)	竣 工
〒988-0171 気仙沼市赤岩牧沢44-114	単身用4室	木 造 1 階 建	115.93	平9.3
〒988-0535 気仙沼市唐桑町馬場189-7	世帯用2室	鉄骨耐火構造1階建	99.84	昭57.2
〒988-0309 気仙沼市本吉町津谷松尾68-9	世帯用2室	鉄骨耐火構造1階建	100.00	昭58.3
〒986-0776 南三陸町志津川字竹川原47-4	世帯用6室	鉄骨耐火構造2階建	297.61	昭55.3
〒988-0455 南三陸町歌津字吉野沢61-162	世帯用2室	鉄骨耐火構造1階建	99.84	昭55.3

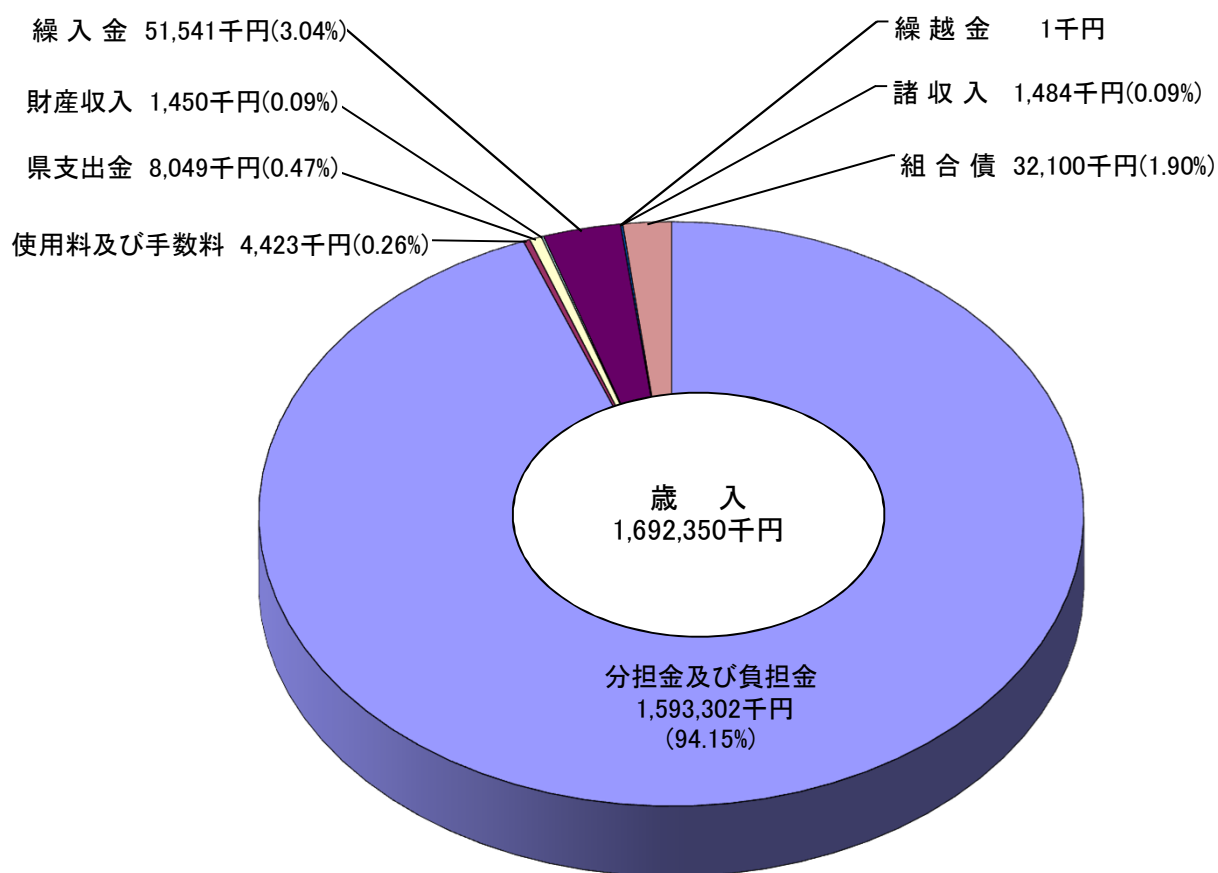


総務



救助工作車(Ⅱ型)

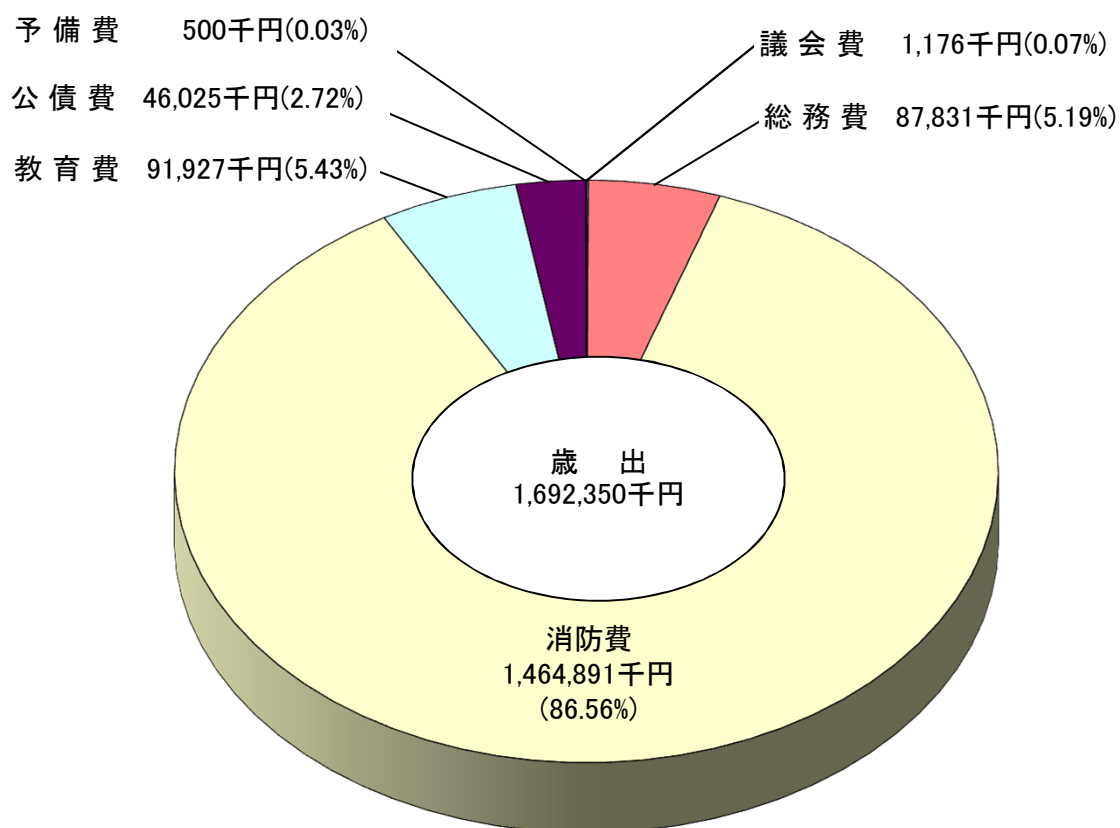
平成26年度当初歳入予算



(単位：千円)

科 目	平成26年度予算額	平成25年度当初予算額	比 較
分 担 金 及 び 負 担 金	1,593,302	1,550,010	43,292
使 用 料 及 び 手 数 料	4,423	3,054	1,369
県 支 出 金	8,049	7,365	684
財 産 収 入	1,450	1,809	△ 359
繰 入 金	51,541	60,042	△ 8,501
繰 越 金	1	1	0
諸 収 入	1,484	1,441	43
組 合 債	32,100	0	32,100
合 計	1,692,350	1,623,722	68,628

平成26年度当初歳出予算



(単位：千円)

科 目	平成26年度予算額	平成25年度当初予算額	比 較
議 会 費	1, 176	1, 001	175
総 務 費	87, 831	87, 719	112
消 防 費	1, 464, 891	1, 396, 495	68, 396
教 育 費	91, 927	86, 400	5, 527
公 債 費	46, 025	51, 607	△ 5, 582
予 備 費	500	500	0
合 計	1, 692, 350	1, 623, 722	68, 628

平成26年度(当初)組合消防費にかかる性質別歳出の財源内訳

(単位:千円)

区 分	予 算 額	財 源 内 訳			
		国・県支出金	組 合 債	そ の 他	負 担 金
人 件 費	1,250,152	8,049		2,411	1,239,692
扶助費(児童手当)	17,495				17,495
物 件 費	137,252			9,492	127,760
維 持 補 修 費	3,817			3,320	497
補 助 費 等	12,856			7	12,849
普通建設事業費	43,819		32,100		11,719
公 債 費	46,025			1,442	44,583
合 計	1,511,416	8,049	32,100	16,672	1,454,595

平成26年度(当初)構成市町の一般会計と消防予算

(単位:千円)

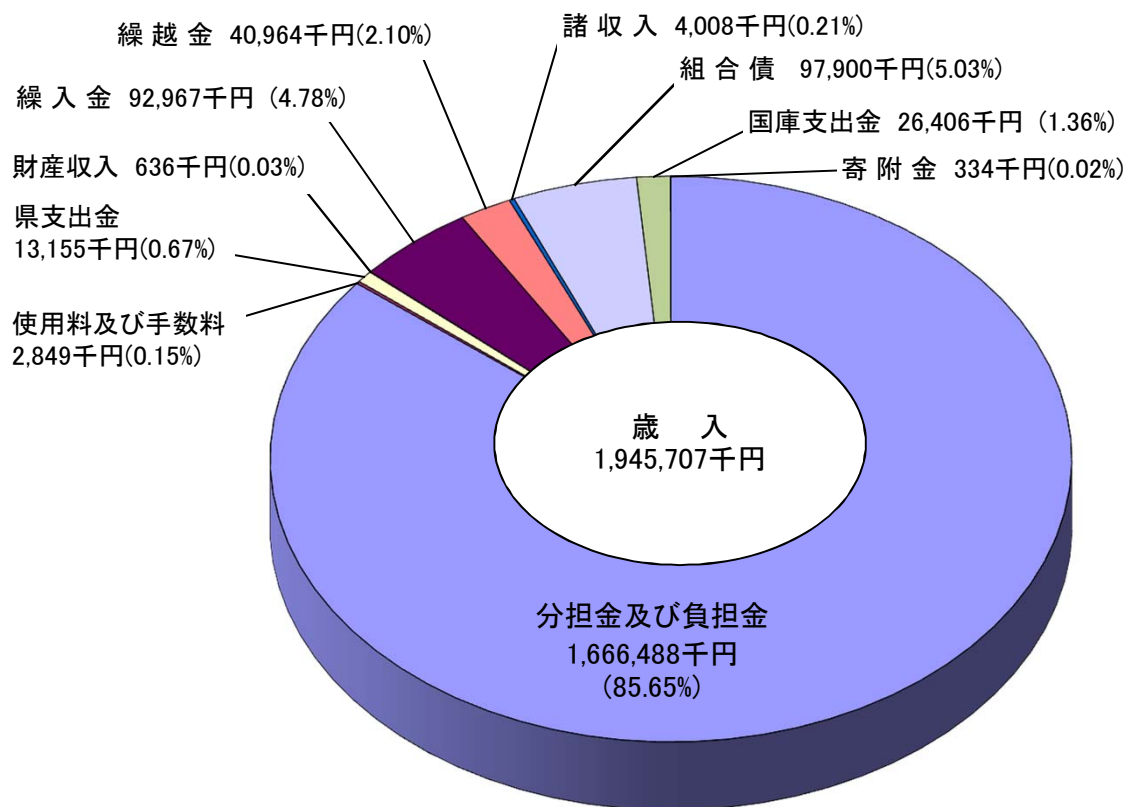
区 分	一 般 会 計 A	消 防 費 B	内 訳			割 合 B/A (%)
			常 備	非 常 備	そ の 他	
気 仙 沼 市	95,168,797	1,521,617	1,098,161	156,980	266,476	1.6
南 三 陸 町	39,850,000	467,022	356,434	59,223	51,365	1.2
合 計	135,018,797	1,988,639	1,454,595	216,203	317,841	1.5

平成25年度(決算)構成市町負担金負担割合

(単位:千円)

区 分	消 防 費 基 準 財 政 需 要 額		消 防 費 負 担 金	
	金 額 (千円)	構 成 比 (%)	金 額 (千円)	構 成 比 (%)
気 仙 沼 市	1,002,175	75.32	1,194,233	77.91
南 三 陸 町	328,450	24.68	338,507	22.09
合 計	1,330,625	100.00	1,532,740	100.00

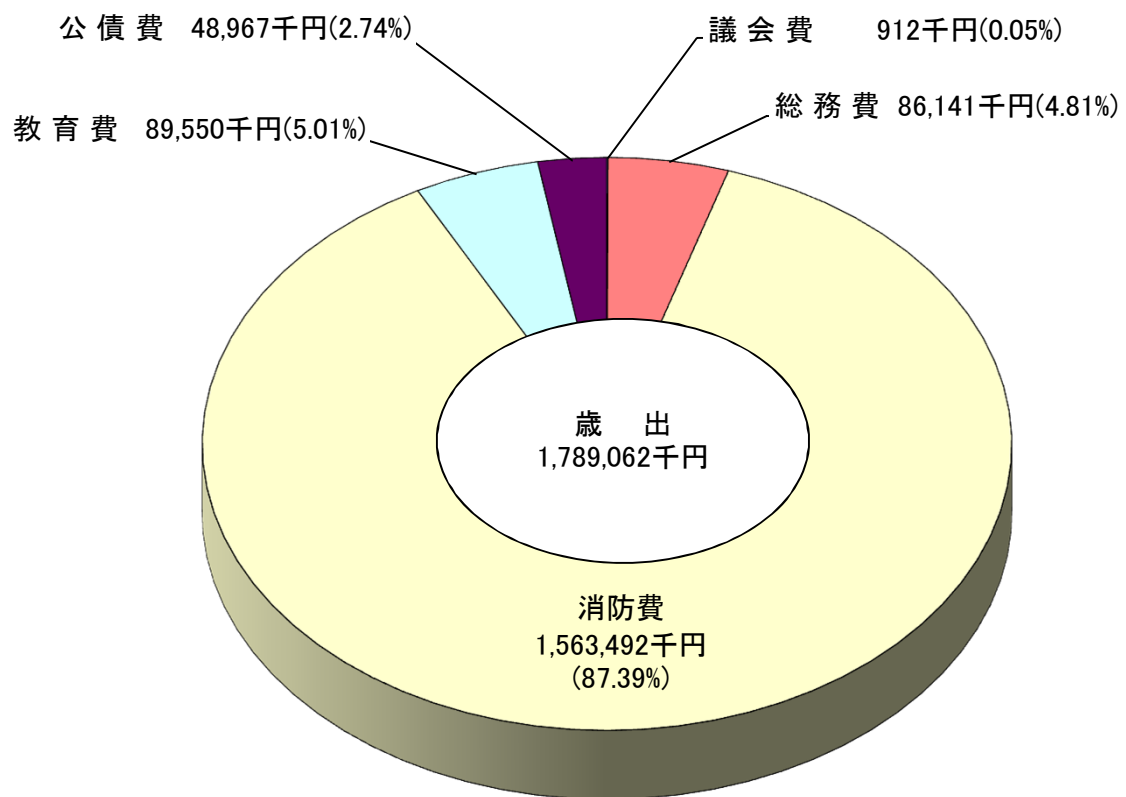
平成25年度歳入決算



(単位：千円)

科 目	平成25年度予算額(最終)	平成25年度決算額	比 較
分 担 金 及 び 負 担 金	1,666,488	1,666,488	0
使 用 料 及 び 手 数 料	2,461	2,849	388
県 支 出 金	12,658	13,155	497
財 産 収 入	414	636	222
繰 入 金	94,500	92,967	△ 1,533
繰 越 金	40,964	40,964	0
諸 収 入	3,441	4,008	567
組 合 債	175,400	97,900	△ 77,500
国 庫 支 出 金	261,294	26,406	△ 234,888
寄 附 金	333	334	1
合 計	2,257,953	1,945,707	△ 312,246

平成25年度歳出決算



(単位：千円)

科 目	平成25年度予算額(最終)	平成25年度決算額	比 較
議 会 費	966	912	54
総 務 費	88,810	86,141	2,669
消 防 費	2,023,679	1,563,492	460,187
教 育 費	92,670	89,550	3,120
公 債 費	51,607	48,967	2,640
予 備 費	221	0	221
合 計	2,257,953	1,789,062	468,891

消 防 職 員 配 置 状 況

(平成26年4月1日現在)

区 分		合 計	消防監	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	事務吏員
消 防 本 部	消 防 長	1	1							
	次 長	1		1						
	総 務 課	18		1	1	2	1		12	1
	警 防 課	3		1	1	1				
	予 防 課	3		1	1	1				
	通 信 指 令 課	10		1	3	3	2		1	
	小 計	36	1	5	6	7	3		13	1
気 仙 沼 消 防 署 管 内	気仙沼消防署	37		3	4	7	11		12	
	本 吉 分 署	19		1	1	4	5	1	7	
	唐 桑 出 張 所	14			1	3	3		7	
	南 町 出 張 所	17			1	4	5		7	
	大 島 出 張 所	15			1	3	6		5	
	小 計	102		4	8	21	30	1	38	
南 三 陸 消 防 署 管 内	南三陸消防署	30		3	3	6	7		11	
	歌 津 出 張 所	14			2	2	6		4	
	小 計	44		3	5	8	13		15	
合 計		182	1	12	19	36	46	1	66	1

※ 再任用職員7名を含む。

※ 総務課には、宮城県消防学校入校者12名、宮城県消防学校派遣1名及び宮城県防災ヘリコプター派遣1名を含む。

消 防 職 員 階 級 別 勤 続 年 数

(平成26年4月1日現在)

階級 勤続年数	合 計	消防監	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	事務吏員
平均勤続年数	14.4	40.0	35.3	25.9	17.1	18.1	39.0	2.6	10.0
合 計	182	1	12	19	36	46	1	66	1
1 年 未 満	12							12	
1 年 以 上	10							10	
2 "	13							13	
3 "	13					2		11	
4 "	7							7	
5 "	9					1		8	
6 "	4					2		2	
7 "	6					5		1	
8 "	7					5		2	
9 "									
10 "	3				1	1			1
11 "	3				1	2			
12 "	4				2	2			
13 "	6				2	4			
14 "	5			1	1	3			
15 "	5				3	2			
16 "	6				5	1			
17 "	6			2	3	1			
18 "	6				5	1			
19 "	7			1	5	1			
20 "	7			2	4	1			
21 "									
22 "	4			1	3				
23 "	2			2					
24 "	3			1	1	1			
25 "									
26 "									
27 "									
28 "	2			2					
29 "	2			2					
30 "	3		1	2					
31 "									
32 "	3		3						
33 "	3		2			1			
34 "									
35 "									
36 "	2		2						
37 "									
38 "									
39 "	2					1	1		
40 "	12	1	4	3		4			
41 "	3					3			
42 "	1					1			
43 "									
44 "	1					1			

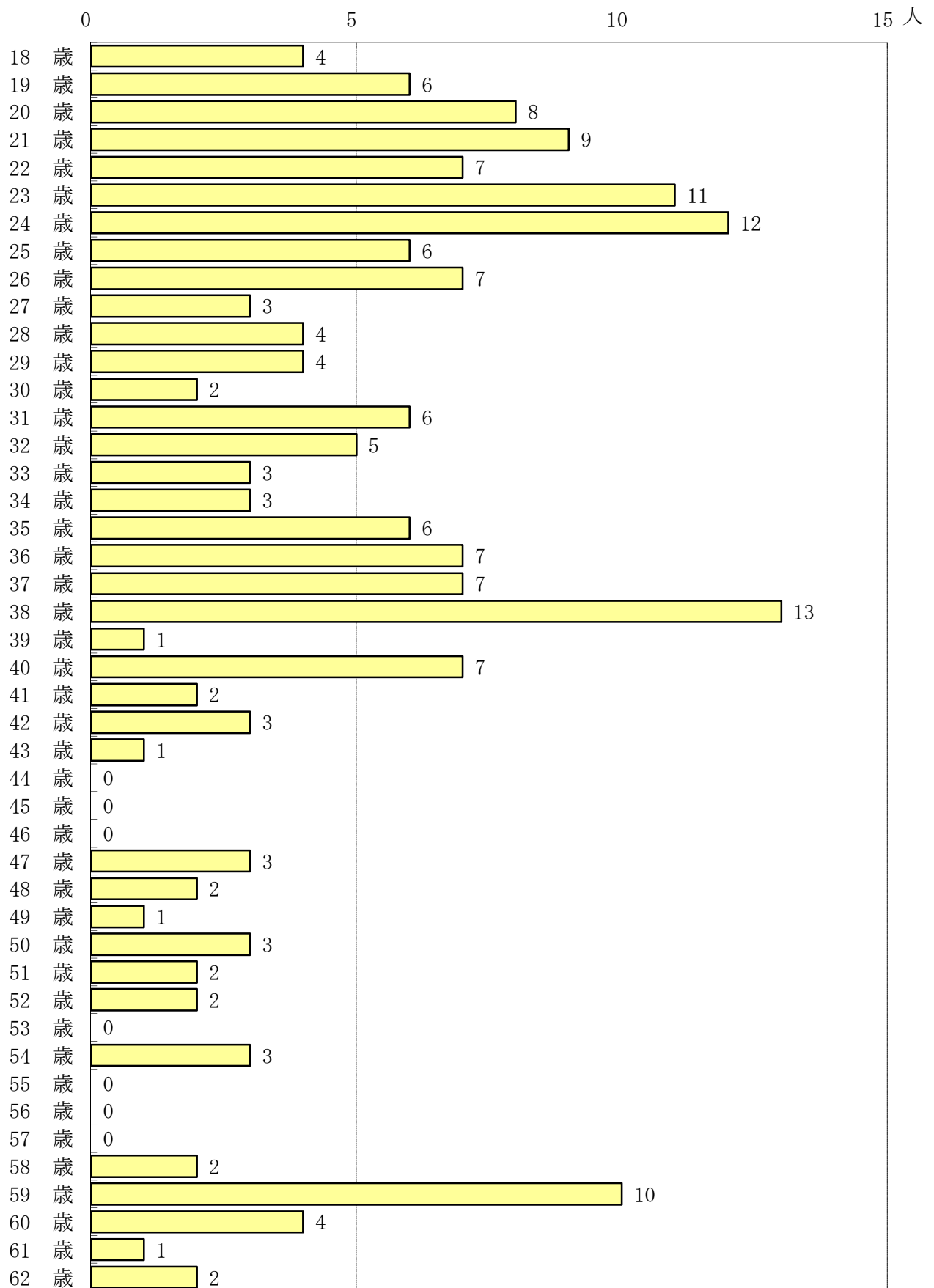
消 防 職 員 階 級 別 年 齡

(平成26年4月1日現在)

階級 年 齢	合 計	消防監	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	事務吏員
平 均 年 齢	34.1	59.0	54.0	45.9	36.8	37.6	58.0	22.4	28.0
合 計	182	1	12	19	36	46	1	66	1
18 歳	4							4	
19 歳	6							6	
20 歳	8							8	
21 歳	9							9	
22 歳	7							7	
23 歳	11					1		10	
24 歳	12					1		11	
25 歳	6					4		2	
26 歳	7					3		4	
27 歳	3					1		2	
28 歳	4					2		1	1
29 歳	4				1	1		2	
30 歳	2				1	1			
31 歳	6					6			
32 歳	5					5			
33 歳	3				2	1			
34 歳	3				1	2			
35 歳	6				4	2			
36 歳	7				6	1			
37 歳	7				5	2			
38 歳	13			3	9	1			
39 歳	1				1				
40 歳	7			3	4				
41 歳	2			2					
42 歳	3			1	1	1			
43 歳	1				1				
44 歳									
45 歳									
46 歳									
47 歳	3			3					
48 歳	2			2					
49 歳	1			1					
50 歳	3		3						
51 歳	2		2						
52 歳	2		1	1					
53 歳									
54 歳	3		2			1			
55 歳									
56 歳									
57 歳									
58 歳	2					1	1		
59 歳	10	1	4	3		2			
60 歳	4					4			
61 歳	1					1			
62 歳	2					2			

消 防 職 員 年 齡 構 成 図

(平成26年4月1日現在)



学校等教育状況

(過去10年)

年度(平成)			種 別	2 5	2 4	2 3	2 2	2 1	2 0	1 9	1 8	1 7	1 6	計	
宮 城 県 消 防 学 校	初 任 総 合 教 育			10	13	13	7	9	4	7	8		3	74	
	専 科 教 育	警 防 科				2			2		2		2		8
		火 災 調 査 科			2			2		2		2		1	9
		予 防 査 察 科						2			2			1	5
		危 険 物 科			2				2			2			6
		特 殊 災 害 科				2				2			2		6
		救 助 科				1									1
		幹 部 教 育	初 級 幹 部 科				2			2		2		1	
	中 級 幹 部 科			2			2		2		2		1	9	
	上 級 幹 部 科				1			1		1		1		4	
	特 別 教 育	はしご自動車操作			2										2
		気 管 挿 管 講 習									3	3	6	3	15
		薬 剤 投 与 講 習						4	5	3	4	4			20
		救急救命士再教育			3	4									7
	小 計			21	25	13	17	21	13	21	21	12	9	173	
消 防 大 学 校	総 合 教 育	本 科											1	1	
		幹 部 科			1	1	1	1	1	1				6	
	専 科 教 育	警 防 科			1						1			1	3
		救 助 科					1								1
		救 急 科					1					1			2
		予 防 科							1		1				2
		危 険 物 科			1										1
		火 災 調 査 科				1					1				2
	小 計			3	2	3	1	2	1	3	1		2	18	
救急救命士		救急救命東京研修所			2	2	1	1	2	2	2	1	2	2	17
		東京消防庁消防学校											1	1	2
合 計				26	29	17	19	25	16	26	23	15	14	210	

職員特殊技能資格取得状況

(平成26年4月1日現在)

階 級		総 数	消防司令 長 以 上	消防司令	消 防 司 令 補	消防士長	消 副 士 防 長	消 防 士	事務吏員
種 別	消防吏員数								
		182	13	19	36	46	1	66	1
大型免許	2 種	12	1	2	4	4		1	
	1 種	96	10	11	24	33	1	17	
	特 殊	11		1	1	9			
	けん引	5				5			
中型免許	2 種								
	1 種	126	13	19	36	44	1	12	1
普通免許	2 種	17		1	4	11		1	
	1 種	56				2		54	
自動2輪	普 通	56	8	6	11	13		18	
	大 型	35	4	7	4	14		6	
整 備 管 理 者		6	1	1	2	1	1		
救 急 救 命 士		39	4	6	10	11		8	
気管挿管認定救急救命士		32	4	6	10	9		3	
薬剤投与認定救急救命士		34	4	6	10	11		3	
潜 水 士		37	3	4	15	10		5	
小 型 船 舶 操 縦 士	1 級	11		1	4	4		2	
	2 級	32	4	5	11	10		2	
無線	陸 上 特 殊	1 級	3			2		1	
		2 級	60	4	5	4	8	39	
		3 級	69		4	28	28	9	
		国内電信級	1					1	
	海上特殊	1 級	4			1		3	
		2 級	7		2	4	1		
	アマチュア	2 級	1			1			
		4 級	3	2		1			
		電話級	2	1		1			
小型移動式クレーン		56	6	9	25	12	1	3	
玉 掛 技 能 講 習		57	7	9	25	12	1	3	
特定化学物質等作業主任者		2		2					
特別管理産業廃棄物管理責任者		3		1	2				
アセチレンガス溶接士		8	2	1	3	2			
電 気 工 事 士		1				1			
衛生管理者	第 1 種	2	2						
	第 2 種	6	2	4					
危 険 物 取 扱 者	甲 種	2			1	1			
	乙 種	137	8	14	36	38		40	1
消防設備士（乙種）		19	3	1	5	8		2	
予防 技術 検定	予 防 査 察	67	3	4	18	23		19	
	消 防 用 設 備 等	16		3	9	4			
	危 険 物	26	2	2	10	10		2	



予 防

消すまでは 心の警報ONのまま



「第3回消防絵画コンクール」最優秀賞 南三陸町立名足小学校4年 及川 拓海 (おいかわ たくみ)

火事・救急・救助は119

秋の火災予防運動 11月9日～11月15日

「住宅用火災警報器を正しく設置しましょう!」

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部 危険物安全協会気仙沼支部
危険物安全協会南三陸支部 気仙沼市防火管理者協会 気仙沼市唐桑町防火管理者協会
本吉町防火管理者協会 南三陸町防火管理者協会 南三陸町歌津防火管理者協会



第3回消防絵画コンクール 最優秀賞
南三陸町立名足小学校 及川 拓海 くん

防 火 対 象 物

消防法第17条対象物

(平成26年3月31日現在)

署 所 別 用 途 別			合 計	気 仙 沼 市				南 三 陸 町	
				気 仙 沼 消 防 署	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	大 島 出 張 所	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館 ・ 演 芸 場 等	2	1	1				
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	93	26	23	11	4	23	6
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等							
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル	10	10					
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等							
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	3	3					
3	イ	待 合 ・ 料 理 店 等							
	ロ	飲 食 店	44	31	4	5	2	2	
4		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト ・ 店 舗 等	129	97	9	6	3	11	3
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所 等	85	21	5	12	26	12	9
	ロ	寄 宿 舎 ・ 下 宿 ・ 共 同 住 宅	232	186	12	1		22	11
6	イ	病 院 ・ 診 療 所 ・ 助 産 所	38	32	2	1	1	2	
	ロ	老人福祉施設・養護施設等	36	18	4	6	1	5	2
	ハ	老人福祉・デイサービス等	67	34	12	10	2	4	5
	ニ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校 等	15	7	4	2		2	
7		学 校 ・ 各 種 学 校 等	119	66	22	10	4	11	6
8		図 書 館 ・ 博 物 館 ・ 美 術 館 等	6	2		2		1	1
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場 等							
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	2	2					
10		車 両 の 停 車 場 等	3	3					
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等	52	24	10	5	3	9	1
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	352	215	37	27		45	28
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	1	1					
13	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	2	1				1	
	ロ	飛 行 機 などの格納庫	1	1					
14		倉 庫	221	151	16	11	2	33	8
15		前各項に該当しない事業場	237	165	19	15	1	29	8
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	108	88	4	3	2	5	6
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	60	43	4		1	4	8
16の2		地 下 街							
16の3		準 地 下 街							
17		文 化 財 等	6	3				2	1
合 計			1, 924	1, 231	188	127	52	223	103

用途別消防用設備等の設置状況

(平成26年3月31日現在)

消防用設備等 用 途 別			消 火 設 備			警 報 設 備			避 難 設 備	
			消 火 器	屋 内 消 火 栓	ク ス プ ラ リ ン	報 自 知 動 設 火 備 災	警 漏 報 電 報 火 器 災	警 非 報 設 備 常	避 難 器 具	誘 導 灯
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	2		1	2		1		1
	ロ	公会堂・集会場	77	5		23	1	24	2	36
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等								
	ロ	遊技場・ダンスホール	10			10		2	1	10
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等								
	ニ	カラオケボックス等	3			3			1	3
3	イ	待合・料理店等								
	ロ	飲食店	42			13	1	11	3	33
4		百貨店・マーケット・店舗等	125	12	2	76		21	1	114
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	84	9	3	62	19	24	12	84
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	229	3		42	2	20	37	10
6	イ	病院・診療所・助産所	38	6	4	32	2	1	4	36
	ロ	老人福祉施設・養護施設等	37	5	23	37		3	3	37
	ハ	老人福祉・デイサービス等	65	2		36	2	4	1	41
	ニ	幼稚園・養護学校等	15	3		11	2	1		8
7		学校・各種学校等	116	63		94	4	49	27	24
8		図書館・博物館・美術館等	6	1		2		2	1	2
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等								
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	2							
10		車両の停車場等	3							
11		神社・寺院・教会等	48	2		6	3	22		3
12	イ	工場・作業場	325	42		141	3	10		35
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	1							1
13	イ	自動車車庫・駐車場	3							1
	ロ	飛行機などの格納庫	1			1				
14		倉庫	204	21		64	2			24
15		前各項に該当しない事業場	179	18		59	3	57	13	58
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	100	2	7	63	1	29	11	65
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	49	2		7		7		8
16の2		地下街								
16の3		準地下街								
17		文化財等	6			5				
合 計			1,770	196	40	789	45	288	117	634

用途別予防査察状況

(平成25年度中)

署 所 別 用 途 別			合 計	気 仙 沼 市				南 三 陸 町	
				気 仙 沼 消 防 署	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	大 島 出 張 所	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	2	1	1				
	ロ	公会堂・集会場	78	11	23	11	4	23	6
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等							
	ロ	遊技場・ダンスホール	9	9					
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等							
	ニ	カラオケボックス等	1	1					
3	イ	待合・料理店等							
	ロ	飲食店	28	16	4	5	1	2	
4		百貨店・マーケット・店舗等	49	21	10	5	3	7	3
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	74	17	2	9	26	12	8
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	54	12	14	1		17	10
6	イ	病院・診療所・助産所	83	72	4	1	2	4	
	ロ	老人福祉施設・養護施設等	33	12	4	6	2	5	4
	ハ	老人福祉・デイサービス等	47	18	9	9	2	4	5
	ニ	幼稚園・養護学校等	11	5	3	2		1	
7		学校・各種学校等	98	45	22	10	4	11	6
8		図書館・博物館・美術館等	4			1		1	2
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等							
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場							
10		車両の停車場等							
11		神社・寺院・教会等	45	21	5	5	3	9	2
12	イ	工場・作業場	155	34	35	23		35	28
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ							
13	イ	自動車車庫・駐車場	1					1	
	ロ	飛行機などの格納庫							
14		倉庫	73	24	13	9	2	22	3
15		前各項に該当しない事業場	51	11	9	9	1	15	6
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	41	24	3	1	2	4	7
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	18	8	3		1	1	5
16の2		地下街							
16の3		準地下街							
17		文化財等	6	3				2	1
合 計			961	365	164	107	53	176	96

用途別中高層建築物の現況

(平成26年3月31日現在)

区 分 用 途 別			対 象 物 数	法 第 8 条 対 象 物 数		中 高 層 建 築 物					
				甲種	乙種	3階	4階	5階	6階	7階	8階 以上
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	2	2		1					
	ロ	公会堂・集会場	93	23	68	2					
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等									
	ロ	遊技場・ダンスホール	10	10							
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等									
	ニ	カラオケボックス等	3	2	1						
3	イ	待合・料理店等									
	ロ	飲食店	44	15	19						
4		百貨店・マーケット・店舗等	129	76	32	4	1				
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	85	48	9	8		1	5		3
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	232	13	4	59	7	4	1		
6	イ	病院・診療所・助産所	38	18		6	3	4	2		
	ロ	老人福祉施設・養護施設等	36	34	1	2	2				
	ハ	老人福祉・デイサービス等	67	30	11	2	2				
	ニ	幼稚園・養護学校等	15	11	2	1					
7		学校・各種学校等	119	47		31	5	2			
8		図書館・博物館・美術館等	6	3	2	1					
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等									
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	2								
10		車両の停車場等	3	1							
11		神社・寺院・教会等	52	23	2		1				
12	イ	工場・作業場	352	21	34	11	1	1			
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	1								
13	イ	自動車車庫・駐車場	2								
	ロ	飛行機などの格納庫	1								
14		倉庫	221	1		7	1				
15		前各項に該当しない事業場	237	47	20	36	1	6	1		
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	108	62	6	29	2	4		1	1
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	60	5		6	1				
16の2		地下街									
16の3		準地下街									
17		文化財等	6		1						
合 計			1,924	492	212	206	27	22	9	1	4

防火管理者を要する対象物

(平成26年3月31日現在)

署 所 別 用 途 別			合 計		気 仙 沼 市 南 三 陸 町											
					気 仙 沼 市		南 三 陸 町		歌 津 出 張 所		南 三 陸 消 防 署		大 島 出 張 所		唐 桑 出 張 所	
					甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館 ・ 演 芸 場 等	2		1		1									
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	23	68	8	15	6	18	2	9	2	2	3	20	2	4
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等														
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル	10		10											
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等														
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	2	1	2	1										
3	イ	待 合 ・ 料 理 店 等														
	ロ	飲 食 店	15	19	9	13	2	3	2	2	1	1	1			
4		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト ・ 店 舗 等	76	32	64	17	4	2	1	4	3	2	4	5		2
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所 等	48	9	13		2	1	5	4	16	3	8	1	4	
	ロ	寄 宿 舎 ・ 下 宿 ・ 共 同 住 宅	13	4	9		1						2	4	1	
6	イ	病 院 ・ 診 療 所 ・ 助 産 所	18		15		1		1				1			
	ロ	老人福祉施設・養護施設等	34	1	15	1	5		6		1		5		2	
	ハ	老人福祉・デイサービス等	30	11	17	8	4	1	5				1	1	3	1
	ニ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校 等	11	2	6		3		2					2		
7		学 校 ・ 各 種 学 校 等	47		26		8		5		1		4		3	
8		図 書 館 ・ 博 物 館 ・ 美 術 館 等	3	2	2					1				1	1	
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場 等														
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場														
10		車 両 の 停 車 場 等	1		1											
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等	23	2	11	2	4		3		3		1		1	
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	21	34	12	33	2		1				6	1		
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ														
13	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場														
	ロ	飛 行 機 な ど の 格 納 庫														
14		倉 庫	1		1											
15		前各項に該当しない事業場	47	20	36	14	1	4	3	2			7			
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	62	6	48	6	4				2		4		4	
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	5		3		1								1	
16の2		地 下 街														
16の3		準 地 下 街														
17		文 化 財 等		1										1		
合 計			492	212	309	110	49	29	36	22	29	8	47	36	22	7

建 築 同 意 事 務

(平成25年度中)

用 途 別 署 所 別			合 計	気 仙 沼 市				南 三 陸 町	
				気 仙 沼 消 防 署	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	大 島 出 張 所	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館 ・ 演 芸 場 等							
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	17	1	3			8	5
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等							
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル							
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等							
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	1	1					
3	イ	待 合 ・ 料 理 店 等							
	ロ	飲 食 店	22	15	2	1		3	1
4		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト ・ 店 舗 等	34	22	4			7	1
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所 等	15	11	1			3	
	ロ	寄 宿 舎 ・ 下 宿 ・ 共 同 住 宅	34	24	3			3	4
6	イ	病 院 ・ 診 療 所 ・ 助 産 所	3	2				1	
	ロ	老人福祉施設・養護施設等	7	4	2			1	
	ハ	老人福祉・デイサービス等	14	9		2		3	
	ニ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校 等	1					1	
7		学 校 ・ 各 種 学 校 等	3	3					
8		図 書 館 ・ 博 物 館 ・ 美 術 館 等							
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場 等							
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	5	2	3				
10		車 両 の 停 車 場 等	13	4	5			1	3
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等	3	1	1				1
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	84	43	12	3		14	12
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ							
13	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	12	4	3	1		1	3
	ロ	飛 行 機 な ど の 格 納 庫	2	2					
14		倉 庫	106	38	18	6		27	17
15		前 各 項 に 該 当 し な い 事 業 場	100	56	13	4		23	4
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	15	13	1			1	
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	11	10	1				
17		文 化 財 等							
18		延長50メートル以上のアーケード							
		専 用 住 宅	74	58	8			8	
		併 用 住 宅	9	5	2			2	
		そ の 他	2		2				
合 計			587	328	84	17		107	51

危 険 物

危険物施設

(平成26年3月31日現在)

署 所 別 製造所等別		合 計	気 仙 沼 市				南 三 陸 町	
			気 仙 沼 消 防 署	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	大 島 出 張 所	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所
合 計		311	196	37	12	9	43	14
製 造 所								
貯 蔵 所	小 計	217	149	22	7	7	25	7
	屋 内	23	16	5		1		1
	屋 外 タ ン ク	17	12	1			4	
	屋 内 タ ン ク	5	5					
	地 下 タ ン ク	57	32	8	4	1	11	1
	簡 易 タ ン ク							
	移 動 タ ン ク	92	69	6		2	10	5
	屋 外	23	15	2	3	3		
取 扱 所	小 計	94	47	15	5	2	18	7
	給 油	43	18	6	3	2	9	5
	第 一 種 販 売							
	第 二 種 販 売							
	一 般	51	29	9	2		9	2
	移 送							

危険物施設の予防査察実施状況

(平成25年度中)

署 所 別 製造所等別		合 計	気 仙 沼 市				南 三 陸 町	
			気 仙 沼 消 防 署	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	大 島 出 張 所	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所
合 計		273	168	36	10	11	33	15
製 造 所								
貯 蔵 所	小 計	204	142	20	6	9	19	8
	屋 内	12	5	5		1		1
	屋 外 タ ン ク	10	4	1			5	
	屋 内 タ ン ク	2	2					
	地 下 タ ン ク	31	15	6	3	1	5	1
	簡 易 タ ン ク							
	移 動 タ ン ク	137	115	6		2	9	5
	屋 外	12	1	2	3	5		1
取 扱 所	小 計	69	26	16	4	2	14	7
	給 油	36	14	7	3	2	5	5
	第 一 種 販 売							
	第 二 種 販 売							
	一 般	33	12	9	1		9	2
	移 送							

危険物事務処理件数

(平成25年度中)

区 分 製造所等別		許 可		完 成		完成検査前検査 (タンク検査)	仮 使 用	種 類・ 数量 変更	譲 渡 引 渡	廃 止 届	合 計
		設置	変更	設置	変更						
合 計		23	29	21	27	7	10	7	4	43	171
製 造 所											
貯 蔵 所	小 計	13	16	13	14	1	1	7	4	29	98
	屋 内	3		2							5
	屋外タンク	4		3		1				10	18
	屋内タンク									2	2
	地下タンク		4		3				1	4	12
	簡易タンク										
	移動タンク	5	11	5	11			6	3	12	53
	屋 外	1	1	3			1	1		1	8
取 扱 所	小 計	10	13	8	13	6	9			14	73
	給 油	3	9	3	9	2	8			3	37
	第一種販売										
	第二種販売										
	一 般	7	4	5	4	4	1			11	36
	移 送										

民 間 防 火 組 織

危険物安全協会結成状況

(平成26年4月1日現在)

名 称		結 成 年 月 日	会 員 数	摘 要
気仙沼本吉地区危険物安全協会		S48. 4. 24	88	
気仙沼支部	小 計		69	
	気 仙 沼 市	S32. 3. 17	58	
	気 仙 沼 市 唐 桑 町	S35. 8	3	
	気 仙 沼 市 本 吉 町	S35. 8	8	
南三陸支部	小 計		19	
	南 三 陸 町 志 津 川	S35. 8	13	
	南 三 陸 町 歌 津	S35. 8	6	

防火管理者協会結成状況

(平成26年4月1日現在)

名 称		結 成 年 月 日	会 員 数	摘 要
1	気 仙 沼 市	S42. 9. 28	132	
2	気 仙 沼 市 唐 桑 町	S52. 11. 21	44	
3	気 仙 沼 市 本 吉 町	S51. 8. 20	55	
4	南 三 陸 町 志 津 川	S49. 12. 5	52	
5	南 三 陸 町 歌 津	S55. 11. 21	34	
合 計			317	

幼年消防クラブ結成状況

(平成26年4月1日現在)

市 町 名		結成年月日	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数	摘 要
1	気 仙 沼 市	S57. 6. 10	22	313	
2	気仙沼市唐桑町	H元. 12. 25	1	22	
3	気仙沼市本吉町	S59. 12. 4	2	15	
4	南三陸町志津川	S58. 3. 9	3	154	
5	南三陸町歌津	S56. 6. 4	2	28	
合 計			30	532	

少年消防クラブ結成状況

(平成26年4月1日現在)

ク ラ ブ 名		結成年月日	隊員数	所 在 地
1	小 原 木 小 学 校	S55. 7. 16	6	気仙沼市唐桑町岩井沢97-3
2	中 井 〃	S55. 7. 17	16	気仙沼市唐桑町中井134-3
3	唐 桑 〃	S55. 7. 23	22	気仙沼市唐桑町明戸208-6
4	馬 籠 〃	S59. 7. 20	14	気仙沼市本吉町小金山1-1
5	気 仙 沼 〃	S63. 6. 4	39	気仙沼市笹が陣3-1
6	九 条 〃	H 3. 5. 17	65	気仙沼市九条327
7	階 上 中 学 校	H22. 4. 19	121	気仙沼市長磯中原125
8	歌 津 〃	H23. 2. 18	120	南三陸町歌津字伊里前123
合 計			403	

婦人防火クラブ結成状況

(平成26年4月1日現在)

ク ラ ブ 連 合 会 名		結成年月日	単位クラブ数	会 員 数	事 務 局 所 在 地
1	気 仙 沼 市	S56. 5. 28	12	1, 327	気仙沼市赤岩五駄鱈43-2
2	唐 桑 町	S45. 6. 17	3	526	気仙沼市唐桑町馬場181-1
3	本 吉 町	S50. 4. 9	40	3, 553	気仙沼市本吉町津谷松尾1-1
4	南 三 陸 町	H21. 4. 1	35	2, 030	南三陸町志津川字沼田56-2
5	気仙沼本吉地区 婦人防火クラブ連合会	S56. 8. 11	90	7, 436	気仙沼市赤岩五駄鱈43-2



警 防



消防技術の伝承訓練(第39回広域消防技術大会)

消 防 車 両

消防車両等の配置状況

(平成26年4月1日現在)

所 属 車 両	合 計	消 防 本 部	気 仙 沼 消 防 署	南 町 出 張 所	大 島 出 張 所	唐 桑 出 張 所	本 吉 分 署	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所
合 計	42	7	11	3	5	3	4	6	3
消 防 ポ ン プ 自 動 車	10	1 (非常用)	2	2	1	1	1	1	1
水 槽 付 ポ ン プ 車	2						1	1	
化 学 車	1		1						
小型動力ポンプ付水槽車	1		1						
は し ご 車 (30m 級)	1		1						
救 助 工 作 車	1		1						
水 難 救 助 車	1		1						
消 防 救 急 艇	1				1				
高 規 格 救 急 自 動 車	7	1 (非常用)	1	1		1	1	1	1
救 急 自 動 車	1				1				
指 揮 車	4	2	1					1	
多 機 能 型 広 報 車	2					1			1
広 報 車	3	1			1		1		
資 機 材 搬 送 車	2		1					1	
事 務 連 絡 車	1	1							
人 員 輸 送 車	1	1							
バ イ ク	3		1 (50cc)		1 (50cc)			1 (125cc)	

消防車両等の配置現況

(平成26年4月1日現在)

所 属	名 称	車 名	登録年月	経過年数	無 線 呼 称
消 防 本 部	指 揮 車 1 号	三 菱	H19.03	7	本 部 指 揮 1
	指 揮 車 2 号	ト ヨ タ	H15.02	11	〃 指 揮 2
	連 絡 車	ト ヨ タ	H14.12	11	
	人 員 輸 送 車	三 菱	H06.01	20	
	本 部 広 報 車	日 産	H25.03	1	本 部 広 報 1
	消防ポンプ車(非常用)	日 野	H13.03	13	〃 ポンプ 1
	高規格救急車(非常用)	ト ヨ タ	H13.03	13	〃 救 急 1
気仙沼消防署	消 防 ポ ン プ 自 動 車	三 菱	H11.01	15	気仙沼 ポンプ 1
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	ト ヨ タ	H15.11	10	〃 ポンプ 2
	化 学 車	日 野	H22.12	3	〃 化 学 1
	小型動力ポンプ付水槽車	日 野	H10.03	16	〃 タンク 1
	は し ご 車	日 野	H18.02	8	〃 梯 子 1
	救 助 工 作 車	日 野	H26.03	0	〃 救 助 1
	水 難 救 助 車	ト ヨ タ	H23.09	2	〃 救 助 2
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H22.03	4	〃 救 急 1
	指 揮 車	三 菱	H19.02	7	〃 指 揮 1
	資 機 材 搬 送 車	日 野	H20.07	5	〃 搬 送 1
	ホ ン ダ 5 0	ホ ン ダ	H23.07	2	
南 町 出 張 所	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H25.03	1	南 町 ポンプ 1
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	三 菱	H07.03	19	〃 ポンプ 2
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H13.12	12	〃 救 急 1
大 島 出 張 所	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H24.02	2	大 島 ポンプ 1
	救 急 自 動 車	日 産	H10.12	15	〃 救 急 1
	広 報 車	日 産	H24.03	2	〃 広 報 1
	消 防 救 急 艇	ヤ ン マ ー	H25.03	1	〃 救急艇 1
	ホ ン ダ 5 0	ホ ン ダ	H23.07	2	
唐 桑 出 張 所	消 防 ポ ン プ 自 動 車	三 菱	H12.06	13	唐 桑 ポンプ 1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H15.03	11	〃 救 急 1
	多機能型広報車	三 菱	H09.03	17	〃 広 報 1
本 吉 分 署	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H19.01	7	本 吉 ポンプ 1
	水 槽 付 ポ ン プ 車	日 野	H14.12	11	〃 水 槽 1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H25.02	1	〃 救 急 1
	広 報 車	三 菱	H20.07	5	〃 広 報 1
南三陸消防署	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H24.02	2	南三陸 ポンプ 1
	水 槽 付 ポ ン プ 車	日 野	H14.12	11	〃 水 槽 1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H22.03	4	〃 救 急 1
	指 揮 車	日 産	H24.03	2	〃 指 揮 1
	資 機 材 搬 送 車	日 野	H24.03	2	〃 搬 送 1
	カ ワ サ キ 1 2 5	カ ワ サ キ	H23.07	2	
歌 津 出 張 所	消 防 ポ ン プ 自 動 車	三 菱	H14.12	11	歌 津 ポンプ 1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H17.11	8	〃 救 急 1
	多機能型広報車	ト ヨ タ	H09.06	16	〃 広 報 1

消防力の整備指針と現有

消防本部・署所の人員

(消防施設整備計画実態調査：平成21年4月1日現在)

区 分		基準台数 (台)	基準台数 に対する 人 員 の 基 準 数 (人)	現有台数 (非常用 を除く) (台)	現有台数 に対する 人 員 の 基 準 数 (人)	現 有 人 員 数 (人)
指揮隊員	指 揮 車	4	232	4	217	131
消防隊員	消 防 ポ ン プ 自 動 車	11		11		
	は し ご 自 動 車	1		1		
	化 学 消 防 車	8		8		
	三 点 セ ッ ト	0		0		
	消 防 艇	1		1		
	特 殊 車	9		9		
救急隊員	救 急 自 動 車	7		7		
	救 急 用 航 空 機	—		—		
救助隊員	救 助 工 作 車 (A 及 び B を 除 く)	1		0		
	救 助 工 作 車 (省 令 4 条 救 助 隊) A	1		1		
	その他の消防用自動車 B	0		0		
通 信 員						13
予防要員	予 防 事 務 の 要 員	状 況 を 勘 案 し 定 め た 人 員 数				12
	危 険 物 事 務 の 要 員	〃				1
庶務の処理等の人員						30

※化学消防車：「泡放出装置を備えた消防ポンプ自動車」等を含む。

※三点セット：「大型化学消防車」「大型高所放水車」「泡原液搬送車」をいう。

※特殊車：「照明電源車」「小型動力ポンプ付水槽車」「広報車」「資機材搬送車」等を含む。

署所及び動力消防ポンプの基準と現有

(消防施設整備計画実態調査：平成21年4月1日現在)

市 町 名	地 域 名	人 口 (人)	署 所				動 力 消 防 ポ ン プ 数							
			基 準 数	現 有 数	不 足 数	比 率 (%)	署所管理分		消 防 団 管 理 分					
							プ消 車防 台ポ 数ン (台)		プ消 車防 台ポ 数ン (台)		ン型手 プ動引 力・ 数ポ小 (口)		ポ動 ン力 プ消 数防 (口)	
							国	市町村 ア	国	市町村 エ	国	市町村 オ	国	市町村
気 仙 沼 市	市 街 地	35,053	2	2	2	100	4	4	1	7	4	13	6	27
	準市街地	19,765		2	2	100		2		3		23	44	29
	そ の 他	10,827								1		20		22
	計	65,645	2	4	4	100	4	6	1	11	4	56	50	78
本 吉 町	市 街 地	—												
	準市街地	4,044		1	1	100		2		2		8	8	12
	そ の 他	7,287										22		22
	計	11,331		1	1	100		2		2		30	8	34
南 三 陸 町	市 街 地	—												
	準市街地	12,735		2	2	100		3		3		25	28	31
	そ の 他	5,455										26		26
	計	18,190		2	2	100		3		3		51	28	57
合 計	市 街 地	35,053	2	2	2	100	4	4	1	7	4	13	6	27
	準市街地	36,544		5	5	100		7		8		56	80	72
	そ の 他	23,569								1		68		70
	計	95,166	2	7	7	100	4	11	1	16	4	137	86	169

市 町 名	地 域 名	消防ポンプ車現有数				動力消防ポンプ現有数									
		合 計				署所管理分				消 防 団 管 理 分					
		プ消 防 車 数 ン (台)	算 化 学 車 数 換 (台)	不 足 数 (台)	比 率 (%)	プ消 防 車 数 ン (台)	算 化 学 車 数 換 (台)	不 足 数 (台)	比 率 (%)	プ消 防 車 数 ン (台)	不 足 数 (台)	比 率 (%)	力手 ポ引 ン小 プ型 数動 (口)	不 足 数 (台)	比 率 (%)
		カ+キ ①		(ウ+ エ) -①	①/(ウ+ エ)× 100	カ		ウ-カ	カ/ウ ×100	キ	エ-キ	キ/エ ×100	ク	オ-ク	ク/オ ×100
気 仙 沼 市	市 街 地	11			100	4			100	7		100	13		100
	準市街地	5			100	2			100	3		100	23		100
	そ の 他	1			100					1		100	20		100
	計	17			100	6			100	11		100	56		100
本 吉 町	市 街 地														
	準市街地	4			100	2			100	2		100	8		100
	そ の 他												22		100
	計	4			100	2			100	2		100	30		100
南 三 陸 町	市 街 地														
	準市街地	6			100	3			100	3		100	25		100
	そ の 他												26		100
	計	6			100	3			100	3		100	51		100
合 計	市 街 地	11			100	4			100	7		100	13		100
	準市街地	15			100	7			100	8		100	56		100
	そ の 他	1			100					1		100	68		100
	計	27			100	11			100	16		100	137		100

消 防 水 利

管内水利状況

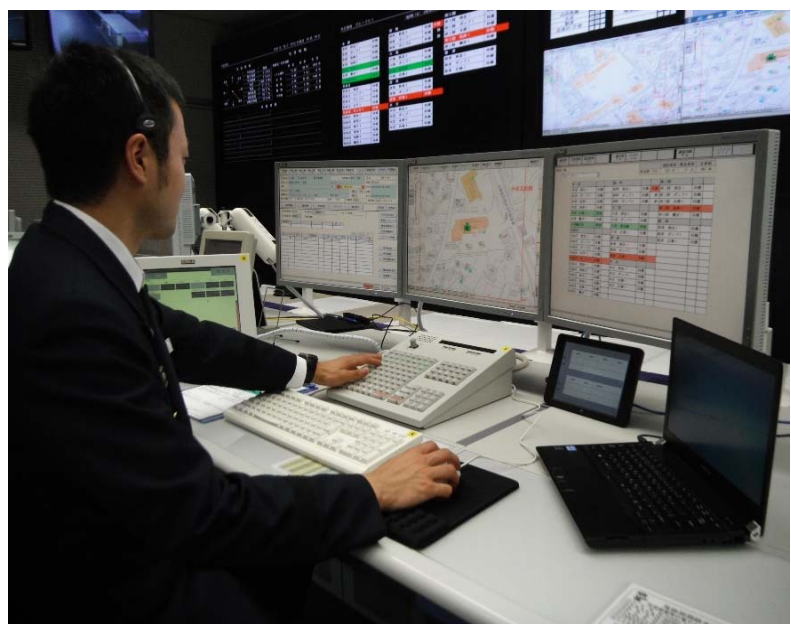
(平成26年4月1日現在)

署 所 種 別			気仙沼消防署		大島出張所		唐桑出張所		本吉分署		南三陸消防署		歌津出張所		合 計		
合 計 (A) + (B) + (C)			1, 101		83		127		368		221		129		2, 029		
消 火 栓	小 計 (A)	地 上	420		39		74		158		29		29		749		
				932		52		75		192		127		54		1, 432	
		地 下	512		13		1		34		98		25		683		
	公 設	地 上	382		39		74		154		28		29		706		
		地 下	490		13		1		33		98		25		660		
	私 設	地 上	38						4		1				43		
		地 下	22						1						23		
	防 火 水 槽	小 計 (B)		151		30		48		171		89		73		562	
		100m³以上		12						4		1		1		18	
		40m³以上 100m³未満		94		24		38		97		71		67		391	
40m³未満		45		6		10		70		17		5		153			
プ ー ル (C)			18		1		4		5		5		2		35		



消防救急デジタル無線

気仙沼市 石割基地局鉄塔



消防指令センター 指令台

通 信

通信施設の現況

(平成26年4月1日現在)

所 属 区 分			合 計	消 防 本 部	署 内						南 三 陸 消 防 署 内			
					気 管 仙 沼 消 防 署	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	南 町 出 張 所	大 島 出 張 所	小 計	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所	小 計	
有 線	火 災 報 知 専 用 電 話		14	14										
	加 入	一 般 回 線	21	14		2	1		1	4	2	1	3	
		テ レ フ ォ ン サ ー ビ ス	1	1										
		F A X	6	1		1	1		1	3	1	1	2	
	I T 回 線	順 次 指 令 メ ー ル	1	1										
		メ ー ル 1 1 9	1	1										
	指 令 ・ 無 線 専 用 回 線		14	7	1	1	1		1	4	2	1	3	
	直 通 電 話		4	3		1				1				
衛 星 携 帯 電 話			10	3	1	1	1	1	1	5	1	1	2	
自 動 車 ・ 携 帯 用 電 話			8	1	1	1	1	1	1	5	1	1	2	
デ ジ タ ル 無 線	消 防	固 定 局		5	5									
		基 地 局		3	3									
		中 継 局		1	1									
		陸上移動局	卓上型固定	6			1	1	1	1	4	1	1	2
			可 搬	4	1	1					1	2		2
			車 載	39	6	11	4	3	3	4	25	5	3	8
			携 帯	31	3	8	3	3	3	3	20	5	3	8
		車 両 運 用 端 末 装 置		38	5	11	4	3	3	4	25	5	3	8
ア ナ ログ 無 線	消 防	固 定 局		3	1						1	1	2	
		基 地 局		4	1					1	1	1	2	
		陸上移動局	車 載	35	3	10	4	3	3	4	24	5	3	8
			携 帯	25	4	7	2	2	2	2	15	4	2	6
			署 活 系	33		8	5	3	3	3	22	8	3	11
		船 舶 局 （ レ ー ダ ー 含 む ）		1						1	1			
	防 災	基 地 局		1	1									
		F A X		1	1									

1 1 9 番 受 信 件 数

(平成25年)

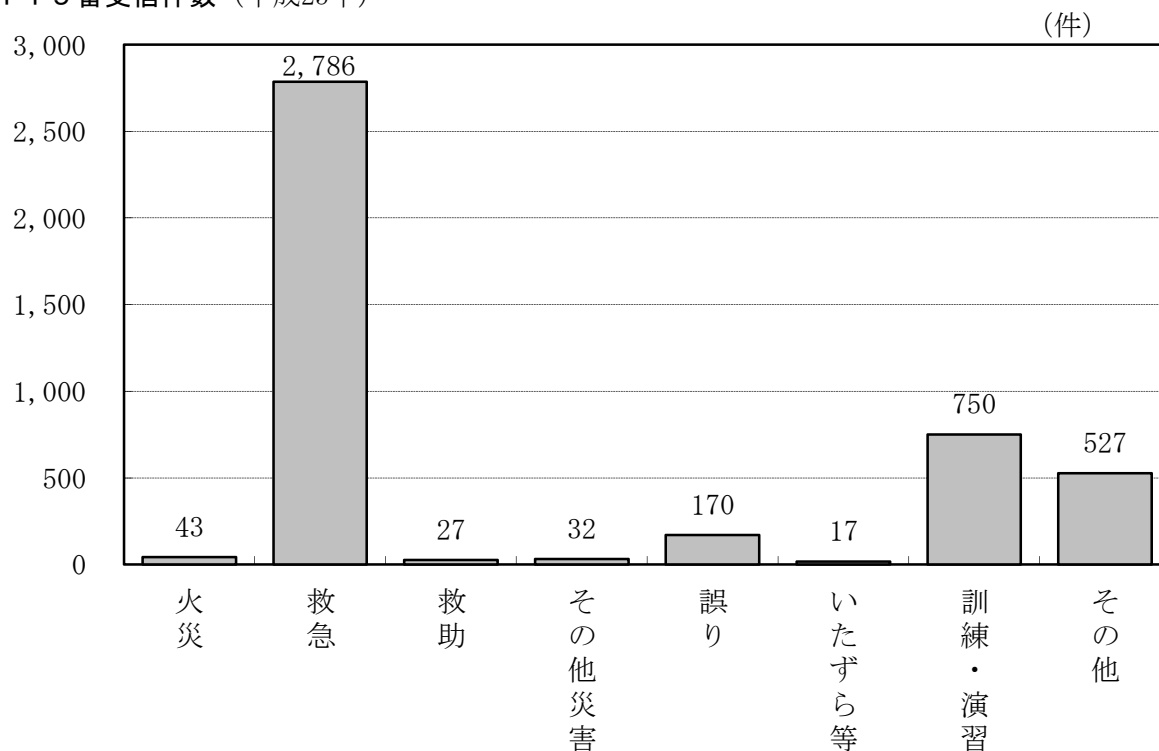
種別	月別												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火 災	5	13	7		3		3	1	7	1	1	2	43
	(4)	(5)	(2)		(1)		(2)	(1)	(4)	(1)		(2)	(22)
救 急	262	228	234	200	230	211	227	268	254	210	238	224	2,786
	(79)	(66)	(79)	(77)	(73)	(65)	(62)	(108)	(85)	(66)	(66)	(55)	(881)
救 助	1	1	1	2		4	9		2	1	3	3	27
	(1)	(1)	(1)	(1)		(3)	(3)		(2)		(3)	(3)	(18)
そ の 他 災 害			5	2	1		18		1	3	1	1	32
			(3)	(2)			(5)		(1)	(2)			(13)
誤 り	8	6	6	15	9	19	17	16	23	16	22	13	170
	(3)	(2)	(3)	(8)	(2)	(9)	(6)	(12)	(18)	(12)	(6)	(9)	(90)
いたずら等	1	3	1	1	1	3	1		1	1	3	1	17
	(1)	(1)		(1)	(1)	(1)					(1)		(6)
訓 練 ・ 演 習	30	55	97	29	45	64	62	35	44	87	148	54	750
	(7)	(15)	(24)	(7)	(16)	(16)	(12)	(8)	(19)	(18)	(36)	(5)	(183)
試 験	33	234	25	14	37	13	13	27	24	54	53	17	544
	(2)	(76)	(7)	(6)	(20)	(7)	(3)	(9)	(6)	(10)	(10)	(2)	(158)
そ の 他	46	44	35	55	37	26	64	52	50	36	41	41	527
	(22)	(26)	(20)	(24)	(18)	(14)	(34)	(27)	(25)	(19)	(18)	(21)	(268)
FAX 1 1 9 (種 別)		2	2			10		6	4	1	1	4	30
		(訓練)	(訓練)			(訓練)		(訓練)	(訓練)	(訓練)	(訓練)	(訓練)	
携帯119転送 (種 別)	2		1	1	1		1	1	4	1	1	2	15
	(救急)		(救急)	(救急)	(救急)		(救急)	(火災)	(救急)	(救急)	(救急)	(救急)	
メー ル 1 1 9 (種 別)													
合 計	388	586	414	319	364	350	415	406	414	411	512	362	4,941
	(121)	(192)	(140)	(127)	(132)	(115)	(128)	(166)	(164)	(129)	(141)	(99)	(1654)

※ () は受信件数のうち、携帯電話からの入電件数。

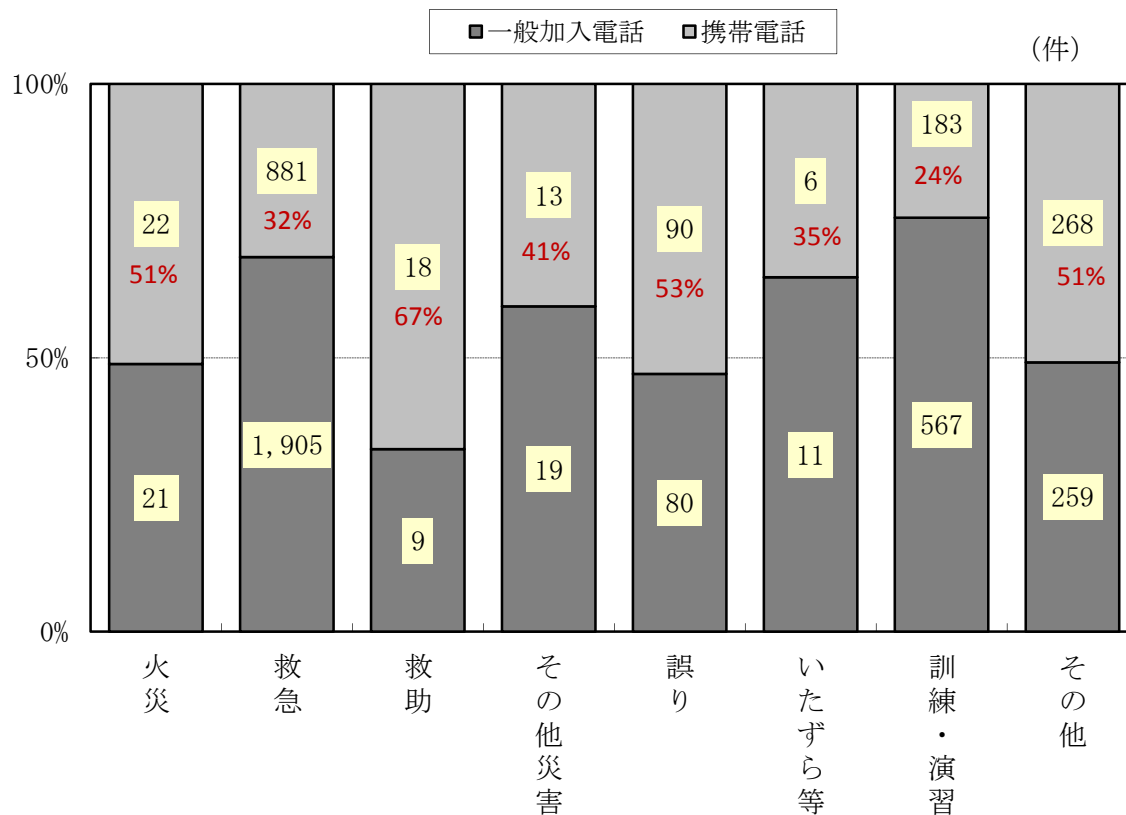
※ 火災・救急・救助には第2報、第3報も含む。

※「携帯119転送」とは、管轄外からの携帯電話による通報を、管轄する消防本部へ転送した件数。

119番受信件数（平成25年）



119番通報 一般加入電話・携帯電話比率（平成25年）

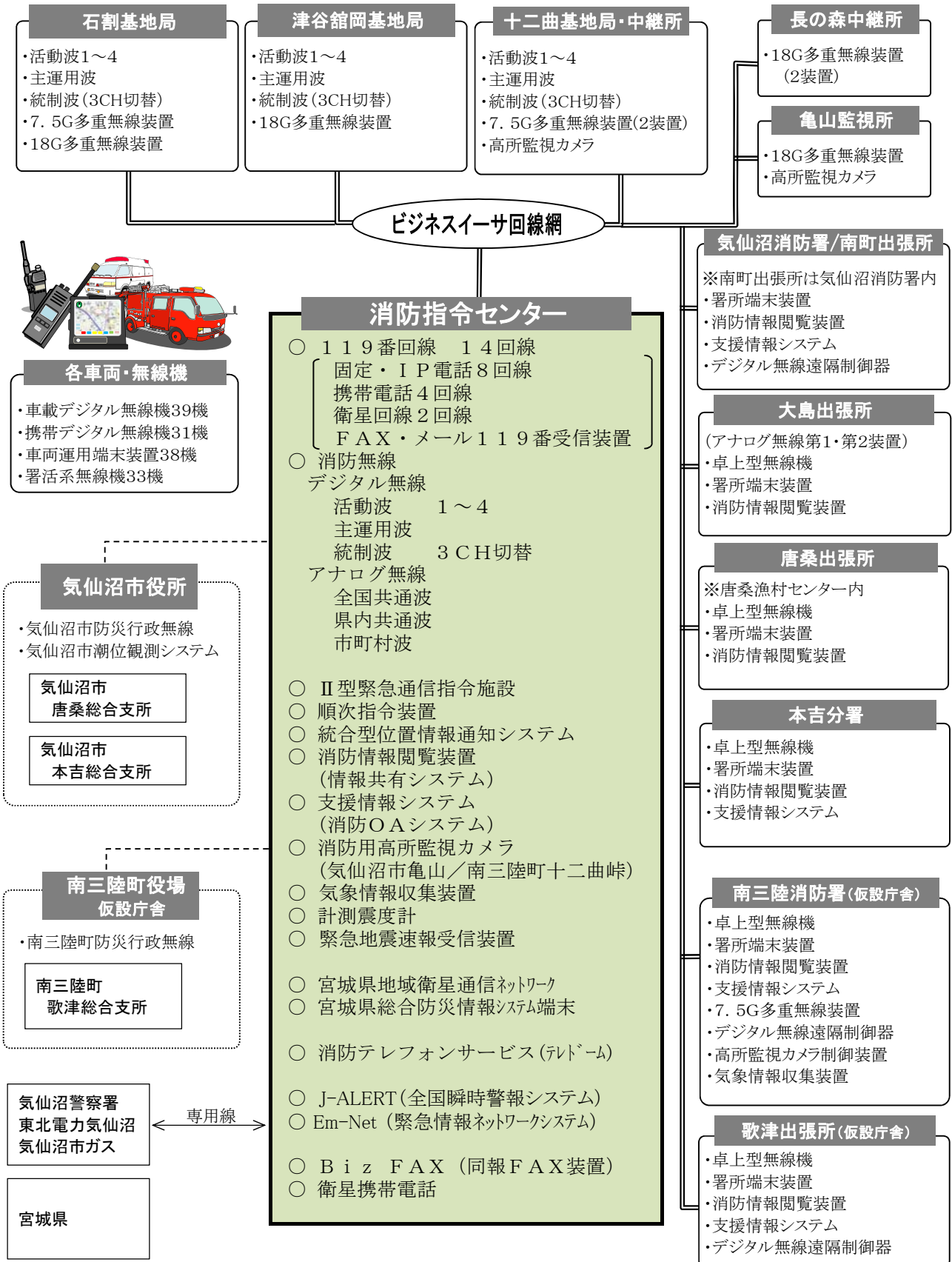


119番通報全体に占める携帯電話比率・・・34%

※ 「試験」「FAX119」「携帯119転送」は除く。

通 信 系 統 図

(平成26年4月1日現在)



気 象 統 計

(平成25年)

月 区分		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計 ／ 平 均
気 温 (℃)	平 均	-0.5	-0.7	4.3	8.7	11.9	17.0	20.7	23.7	20.7	15.5	8.1	3.4	11.1
	最 高	7.4	9.7	16.0	23.2	25.0	28.1	32.2	34.4	32.3	24.9	19.8	13.8	34.4 (年間最高気温)
	最 低	-8.6	-7.3	-4.7	-0.5	1.6	7.5	15.6	15.9	10.0	5.0	-1.9	-2.5	-8.6 (年間最低気温)
降 水 量 (mm)	総 量	36.0	13.0	3.0	112.0	28.0	40.5	384.0	84.5	110.5	201.5	23.0	50.0	1086.0
	最大日量	13.5	8.0	1.5	44.5	10.5	32.0	116.0	33.5	37.0	60.5	16.0	34.0	116.0 (年間最大降水量)
	積 雪 (cm)	24.5	11.0										9.5	45.0
天 気	晴	18	16	14	16	15	12	4	17	13	11	21	14	171
	曇	7	9	13	9	12	13	16	12	13	12	7	13	136
	雨	2		2	5	4	3	10	2	4	8	2	2	44
	雪	4	3	2									2	11
	その他						2	1						3
平 均 湿 度 (%)		63.9	70.2	65.7	70.0	83.4	91.8	94.1	89.0	88.7	88.9	81.8	86.1	81.1
最 多 風 向		北西	西北西	西北西	北西	南東	南東	南東	南東	北	北北西	西北西	北北西	
風 速 (m)	平 均	1.8	1.7	1.9	1.8	1.3	1.0	0.8	1.0	1.1	1.2	1.4	1.6	1.4
	最 大	18.8	17.3	23.0	20.9	14.7	10.7	13.7	11.4	19.8	22.4	18.2	18.2	23.0 (年間最大風速)

気象情報等の受信件数

(平成25年)

種 別		月 別												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
警 報	波 浪				1					1	1		1	4
	大 雨				1			4	1	1	1			8
	洪 水				1			2	1	1	1			6
	暴 風	2	4	6	3					1	1	1	2	20
	大 雪	1												1
	暴 風 雪	1	4										1	6
	津 波													
	大 津 波													
	高 潮									1	1			2
警 報 計		4	8	6	6			6	2	5	5	1	4	47
注 意 報	乾 燥	4	11	4	5	3						4	1	32
	強 風	10	13	19	15	5		2	1	3	8	8	9	93
	波 浪	7	5	7	4	3	1	2	2	3	6	4	7	51
	大 雨				4		1	7	8	3	6			29
	洪 水				4	1	1	6	8	2	6			28
	雷	1		1	5	4	4	5	14	6	2	1		43
	濃 霧	5	1	3	4	10	6	1	5	9	7	7	3	61
	大 雪	4	1											5
	風 雪	8	5	1									2	16
	着 雪	3	1											4
	低 温	4	3					1						8
	霜			11	10							3		24
	高 潮	1	2	2	3	2	2	2	2	4	5	2	4	31
	津 波		1								1			2
注 意 報 計		47	43	48	54	28	15	26	40	30	41	29	26	427
警 報 ・ 注 意 報 計		51	51	54	60	28	15	32	42	35	46	30	30	474

火 災 気 象 通 報	13	23	21	14	9					2	12	7	101
-------------	----	----	----	----	---	--	--	--	--	---	----	---	-----

地 震	震 度 1	16	11	5	9	9	5	8	6	4	14	10	7	104
	震 度 2	1	8	2	5	1	2	9	3	4	2	4	3	44
	震 度 3	1	2	1		1		1			1	1		8
	震 度 4				1				1					2
	震 度 5 弱													
	震 度 5 強													
	震 度 6 弱													
	震 度 6 強													
	震 度 7													
地 震 計		18	21	8	15	11	7	18	10	8	17	15	10	158

※ 震度は、気仙沼・本吉広域防災センター（気象庁設置）の震度計データ。



管内消防団

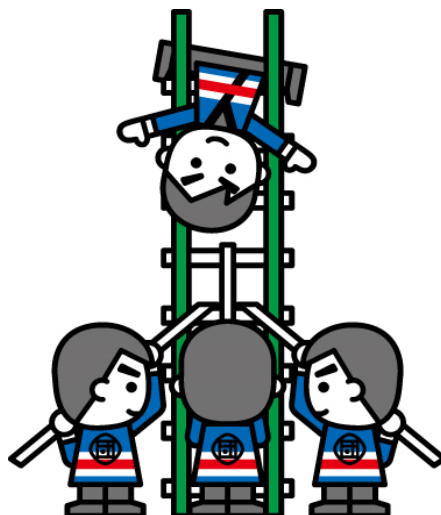
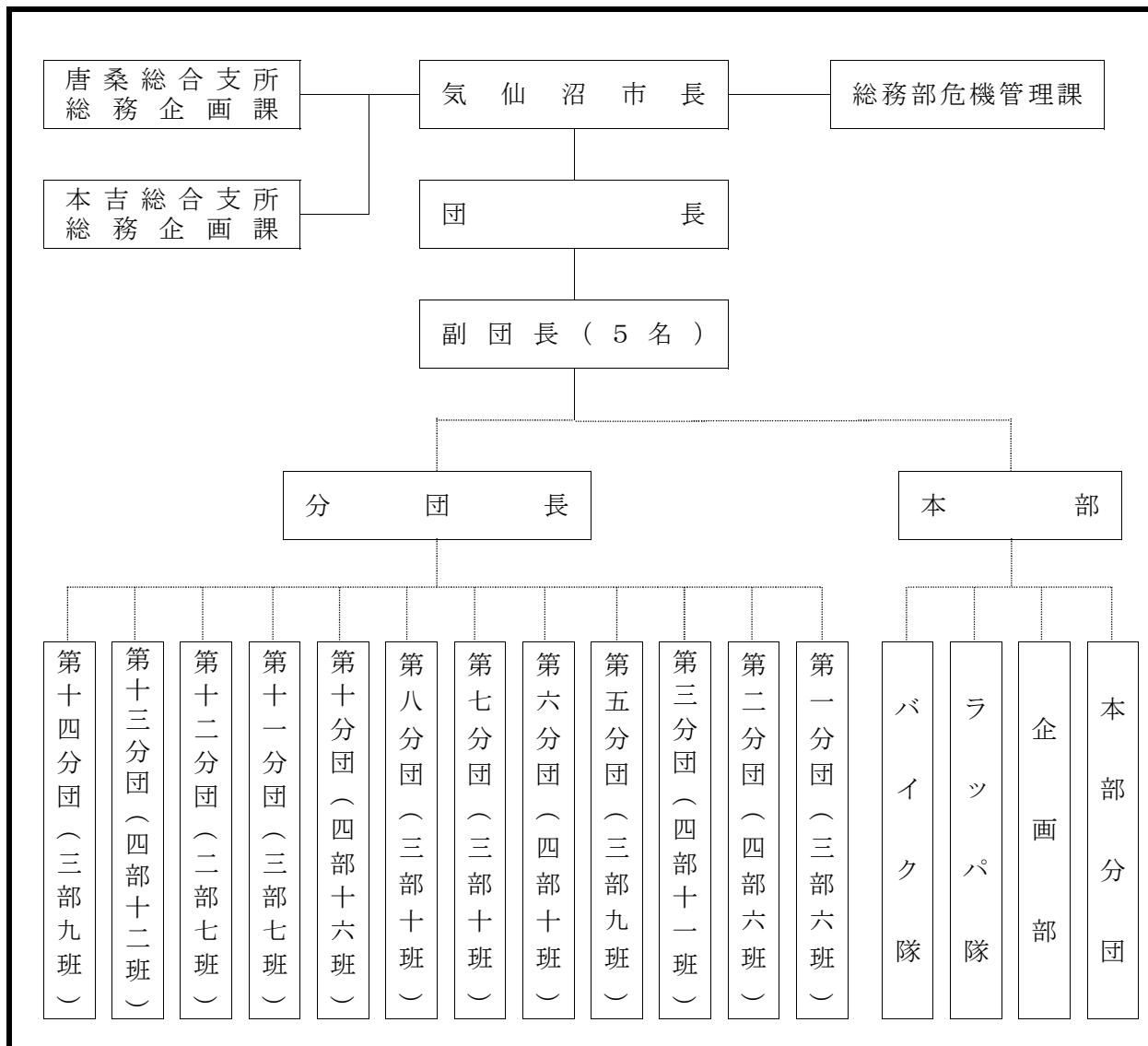


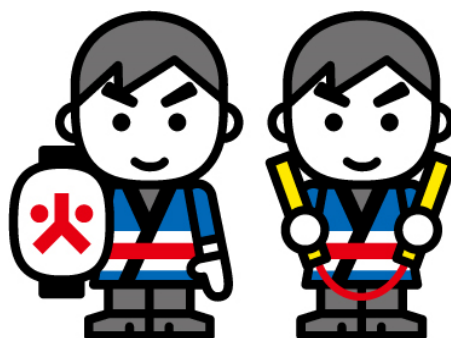
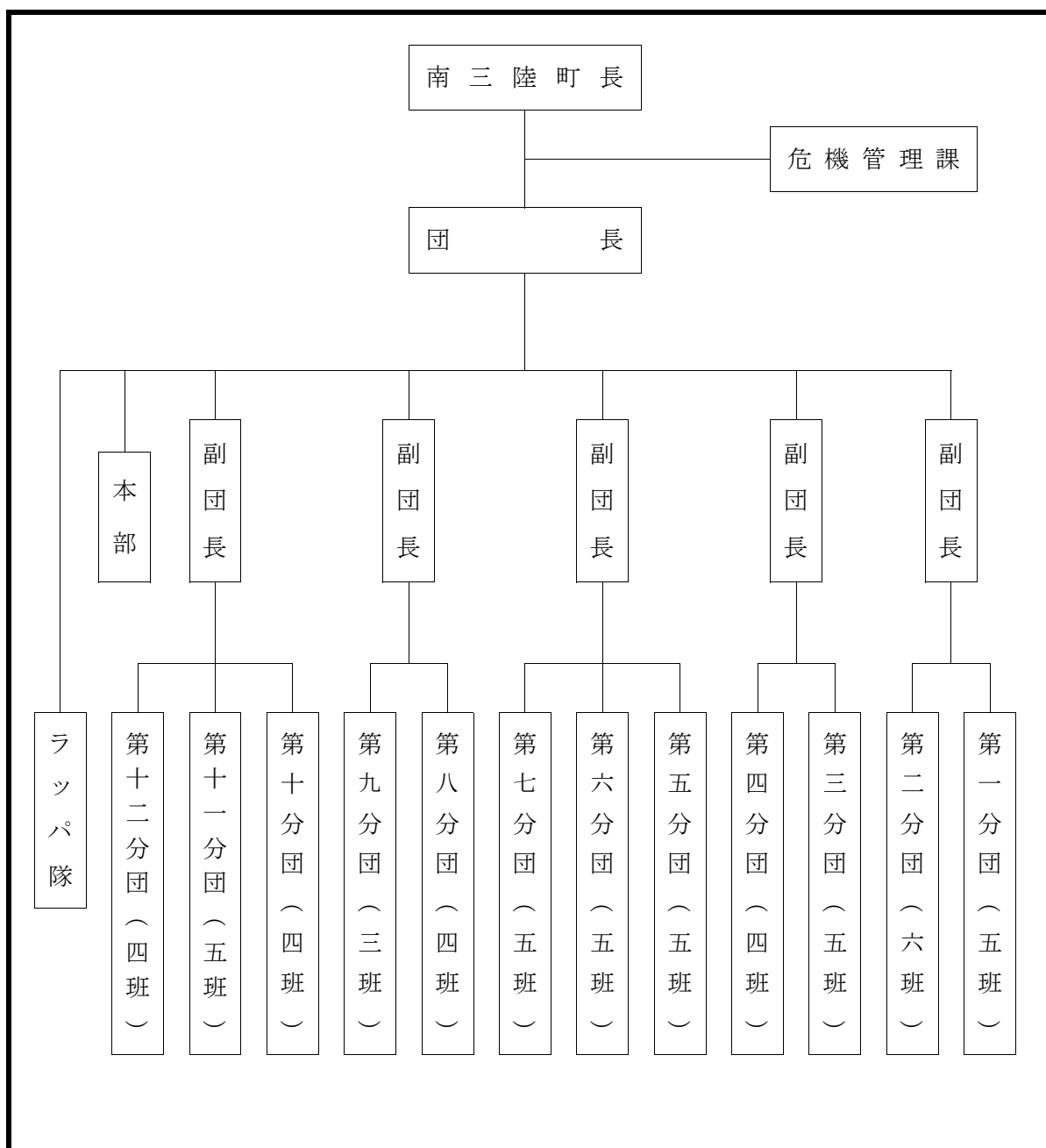
平成26年 南三陸町消防出初式

管内消防団

組織機構図：気仙沼市消防団

(平成26年4月1日現在)





組 織 (平成26年4月1日現在)

区 分 市 町	団 数	分 団 数	部 数	班 数	条例定員数	実 員 数
気 仙 沼 市	1	13	44	115	900	829
南 三 陸 町	1	12		55	630	521
合 計	2	25	44	170	1,530	1,350

階級別消防団員数 (平成26年4月1日現在)

階 級 市 町	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
気 仙 沼 市	1	5	13	26	43	111	630	829
南 三 陸 町	1	5	12	12		55	436	521
合 計	2	10	25	38	43	166	1,066	1,350

年齢別消防団員数 (平成26年4月1日現在)

年 齢 市 町	20歳未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	合 計
気 仙 沼 市		51	166	274	217	121	829
南 三 陸 町		26	132	201	135	27	521
合 計		77	298	475	352	148	1,350

在職年数別消防団員数

(平成26年4月1日現在)

年 数 市 町	5 年 未 満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30 以 上	合 計
気 仙 沼 市	145	161	123	105	97	81	117	829
南 三 陸 町	71	92	95	90	81	48	44	521
合 計	216	253	218	195	178	129	161	1,350

消防団員報酬

(平成26年4月1日現在) (単位：円)

報 酬 市 町	年 報 酬							出動報酬
	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	
気 仙 沼 市	92,400	74,800	56,700	47,700	39,500	30,400	22,500	2,700
南 三 陸 町	92,400	64,000	45,000	38,000		30,400	22,500	2,300

消防施設の現況

(平成26年4月1日現在)

施 設 市 町	消防ポンプ 自 動 車	積 載 車	小型動力 ポ ン プ	消 火 栓	防火水槽	プール
気 仙 沼 市	16	76	6	1,251	400	28
南 三 陸 町		38	40	181	162	7
合 計	16	114	46	1,432	562	35



火災・救急統計



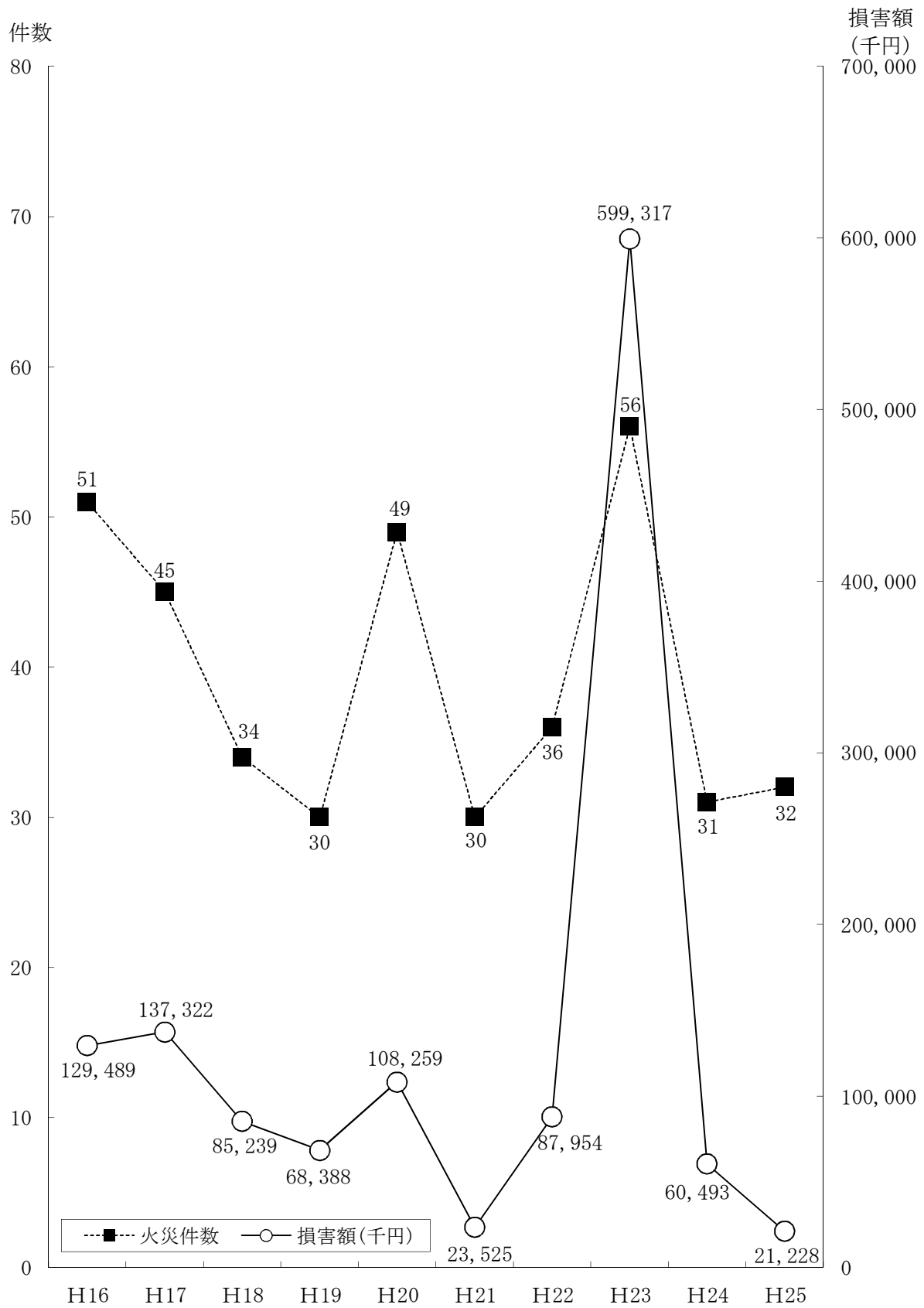
救急フェア2013



平成26年度 全国統一防火標語

もういいかい 火を消すまでは まあただよ

火災件数及び損害額の推移

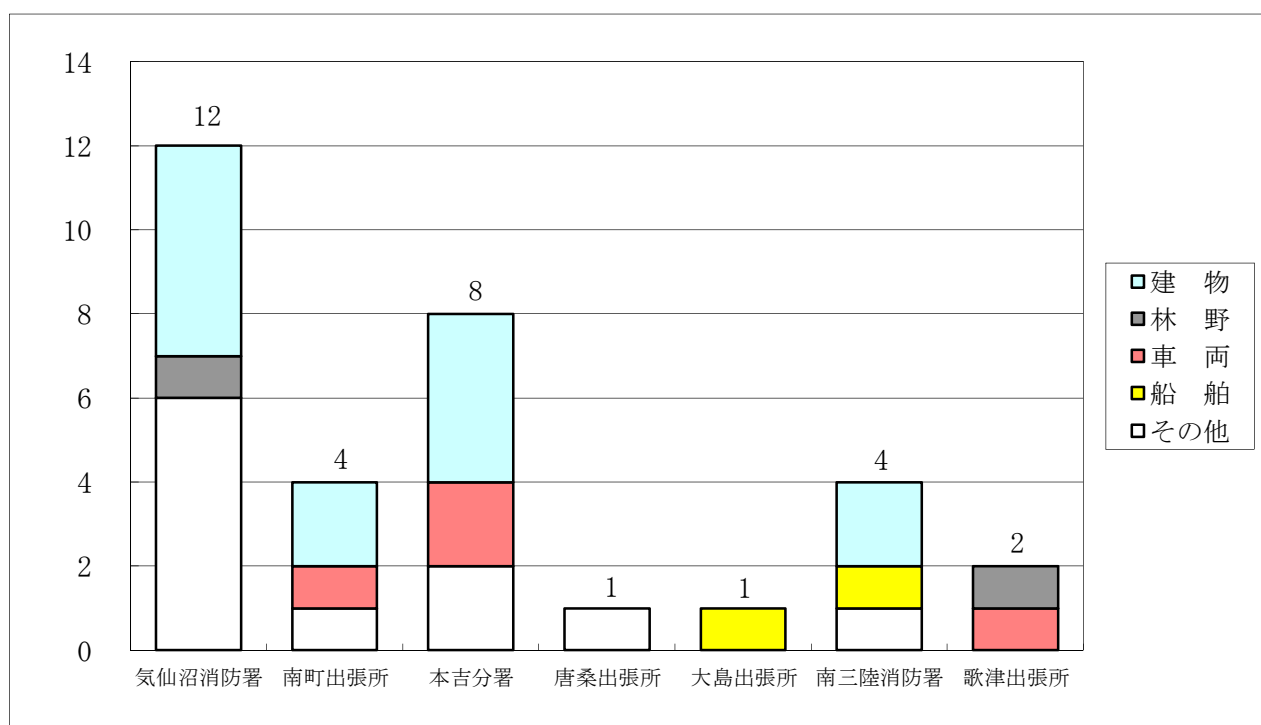


署 所 別 火 災 発 生 状 況

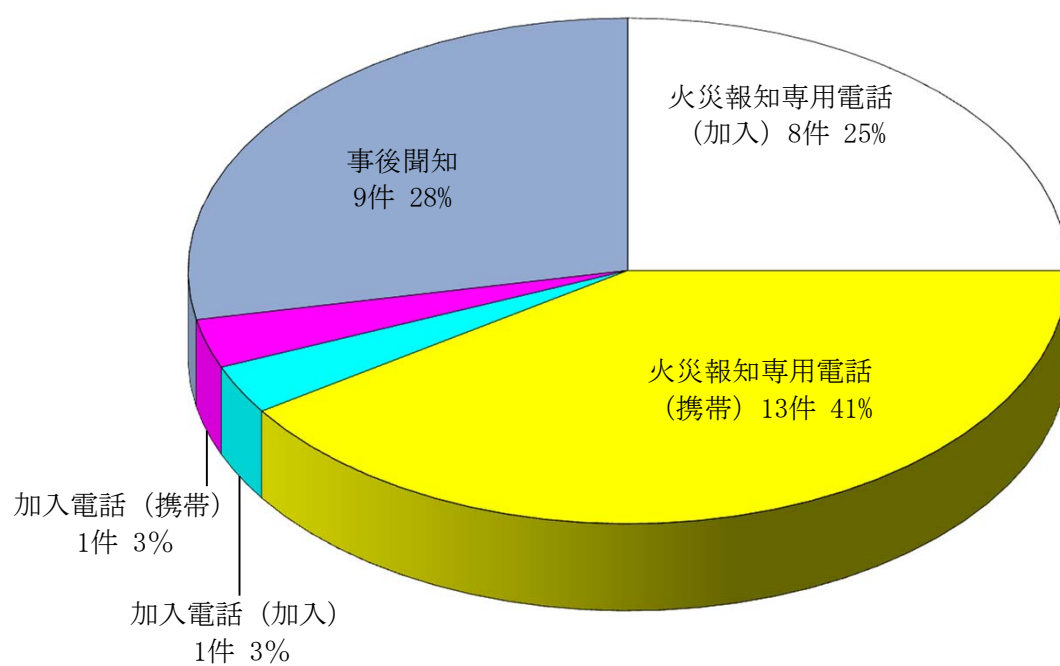
(平成25年)

署所別 区 分		気 仙 沼 消 防 署	南 町 出 張 所	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	大 島 出 張 所	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所	総 計
火 災 件 数	建 物	5	2	4			2		13
	林 野	1						1	2
	車 両		1	2				1	4
	船 舶					1	1		2
	そ の 他	6	1	2	1		1		11
	合 計	12	4	8	1	1	4	2	32
り 災 棟 数	全 焼	1	3				1		5
	半 焼			1					1
	部 分 焼		3						3
	ぼ や	4	1	3			1		9
	合 計	5	7	4			2		18
建物焼損面積(㎡)		36	358	57			13		464
内類焼									
林野焼損面積(a)								6	6
内類焼									
り 災 世 帯 数		2	6	3			1		12
り 災 人 員		4	8	15			3		30
損 害 額 (千円)	建 物	1,785	12,702	5,217			121		19,825
	内類焼								
	林 野							34	34
	内類焼								
	車 両		173	378			45	358	954
	内類焼						45		45
	船 舶					111	170		281
	内類焼								
	そ の 他	134							134
	内類焼								
	合 計	1,919	12,875	5,595		111	336	392	21,228
	内類焼						45		45
死 者			2	1					3
負 傷 者			1				2		3
放 水 火 災 件 数		6	2	5		1	1	2	17

火災件数



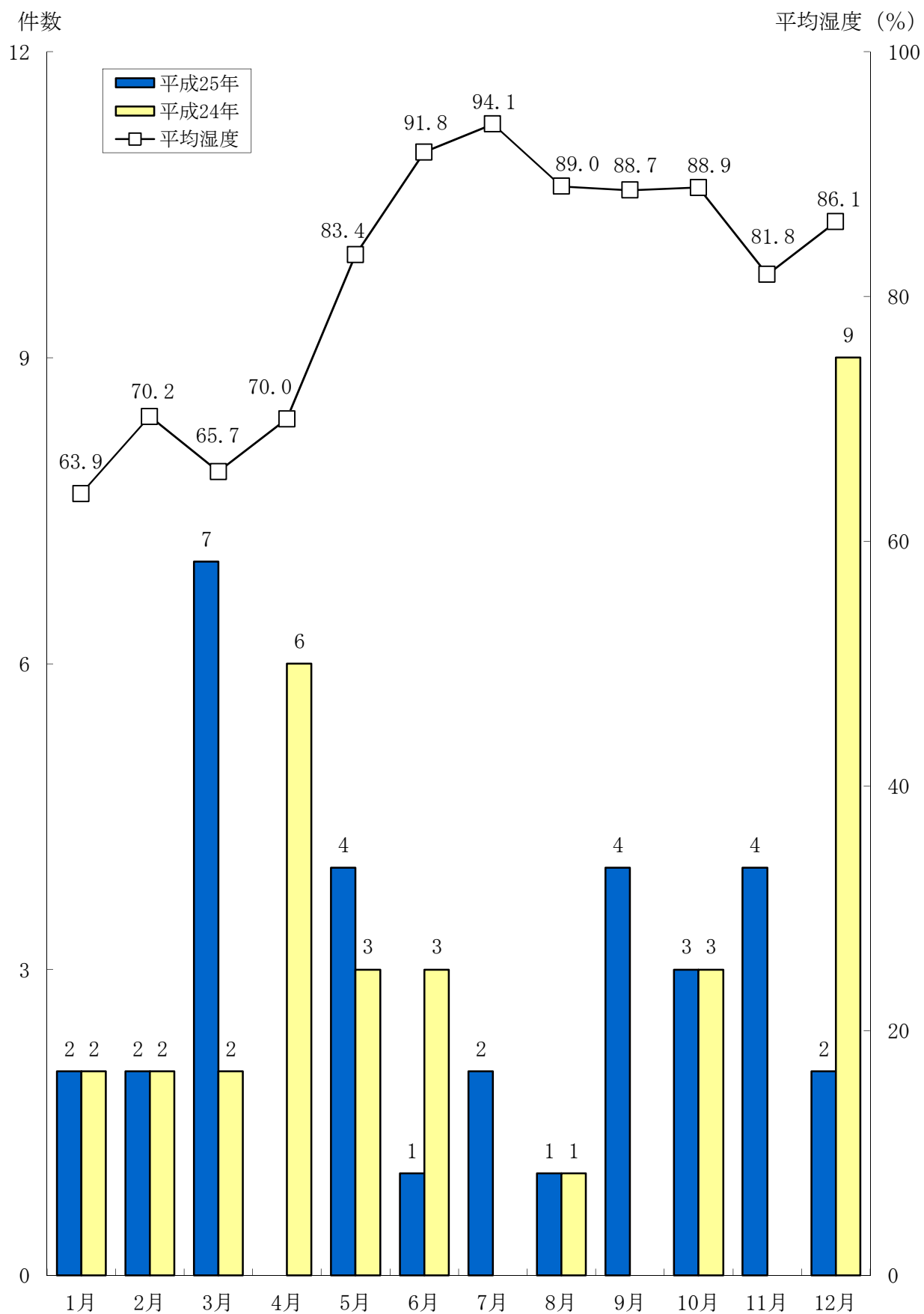
覚知別火災発生状況



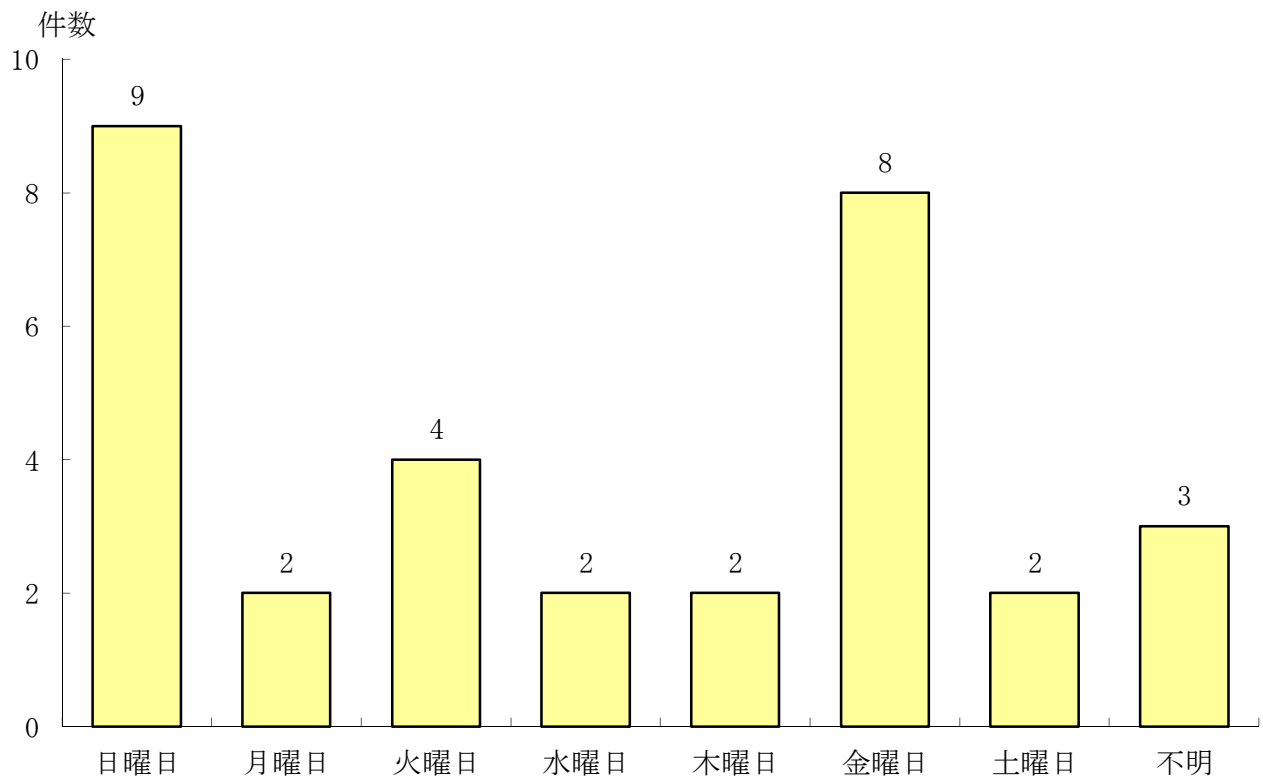
月別火災発生状況

月 別 区 分			1 月		2 月		3 月		4 月		5 月		6 月	
火 災 件 数	建 物	全 焼		2	1	2		7			1	4		1
		半 焼												
		部 分 焼					1							
		ぼ や					1							
	林 野	1			1									
	車 両			1	1			1						
	船 舶													
	そ の 他	1				3			2		1			
り 災 棟 数	棟 数	全 焼			3	6		2			1	1		
		半 焼												
		部 分 焼			2		1							
		ぼ や			1		1							
	世帯 数	全 損			3	6		2						
		半 損												
		小 損			3		2							
	建物焼損面積(㎡)					331		27				36		
内類焼														
林野焼損面積(a)							6							
内類焼														
損 害 額 (千円)	建 物	建 物			6,090		3,212				1,360			
		内類焼												
		内 容 物			1,700		1,708				270			
		内類焼												
	林 野	林 野					34							
		内類焼												
	車 両	車 両			358		371				7			
		内類焼												
	船 舶	船 舶												
		内類焼												
	そ の 他	そ の 他												
		内類焼												
合 計	合 計			8,148		5,325				1,637				
	内類焼													
死 者			1		2									
負 傷 者					1									
放水火災件数			1		2		4				2			
放水ポンプ台数			3		6		12				5			
出動延べ人員(吏員)			17		47		66				45		5	
出動延べ人員(団員)			85		135		265				145			

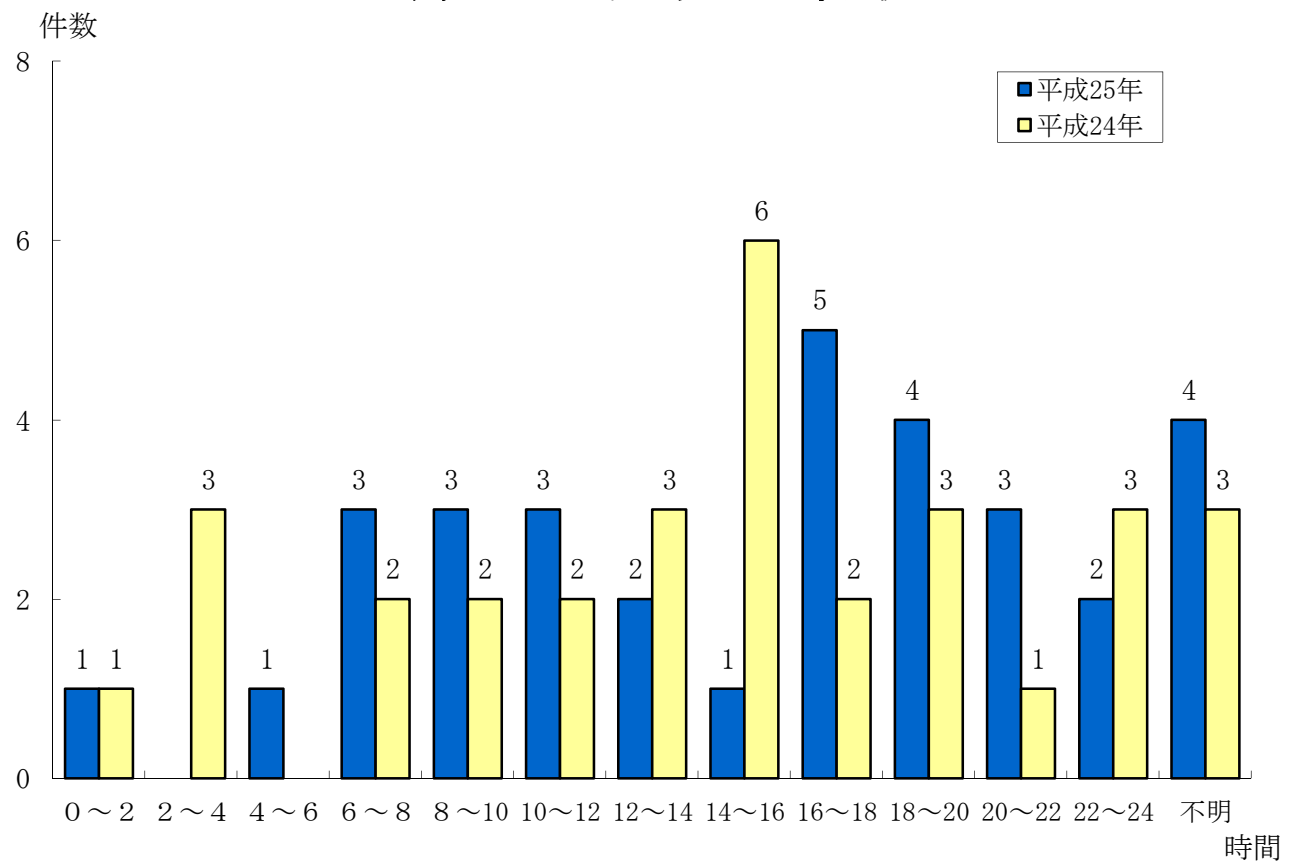
月別火災発生状況



曜日別火災発生状況



時間別火災発生状況



原因別火災発生状況・損害額

年 別 原 因		平成 25 年		平成 24 年	
		件数	損害額（千円）	件数	損害額（千円）
失 火	電 気 器 具 （ 絶 縁 不 良 、 短 絡 ）	4	56	2	10,151
	火 入 れ （ 飛 び 火 、 燃 え 広 が り ）	2	0		
	電 気 配 線 （ 短 絡 ）	1	4,912		
	焼 却 炉 （ 火 源 落 下 、 飛 び 火 ）	1	1,630	1	512
	排 気 管 （ 輻 射 ）	1	371		
	た ば こ （ 投 げ 捨 て 、 放 置 ）	1	358	2	490
	交 通 機 関 （ 短 絡 ）	1	173	1	200
	風 呂 か ま ど （ 火 源 接 触 、 短 絡 ）	1	166	2	16,700
	燵 炭 （ 余 熱 ）	1	133		
	ラ イ タ ー （ 油 に 引 火 ）	1	111		
	ス ト ー ブ （ 取 扱 不 良 ）	1	60	1	6,029
	ガ ス バ ー ナ ー （ 取 扱 不 良 、 火 源 接 触 ）	1	34	2	0
	電 熱 線 （ 短 絡 ）	1	1		
	高 温 の 固 体 （ 火 源 接 触 ）	1	0	2	4,307
	取 灰 （ 取 扱 不 良 ）	1	0		
	火 花 （ 火 源 接 触 ）	1	0		
	ガ ス 設 備 （ 過 熱 ）	1	0		
	土 質 改 良 材 （ 反 応 熱 ）	1	0		
	火のついた紙・ゴミ（火源接触）			2	0
	こ ん ろ （ 火 源 接 触 ）			1	3,161
こ た つ （ 火 源 接 触 ）			1	2,235	
内 燃 機 関 （ 火 源 接 触 ）			1	350	
火 消 し つ ぼ （ 取 扱 不 良 ）			1	75	
放 火 ・ 放 火 の 疑 い		6	212	3	38
自 然 発 火 （ が れ き ）				1	0
天 災 （ 落 雷 ）				1	0
調 査 中		4	13,011	7	16,245
合 計		32	21,228	25	49,140

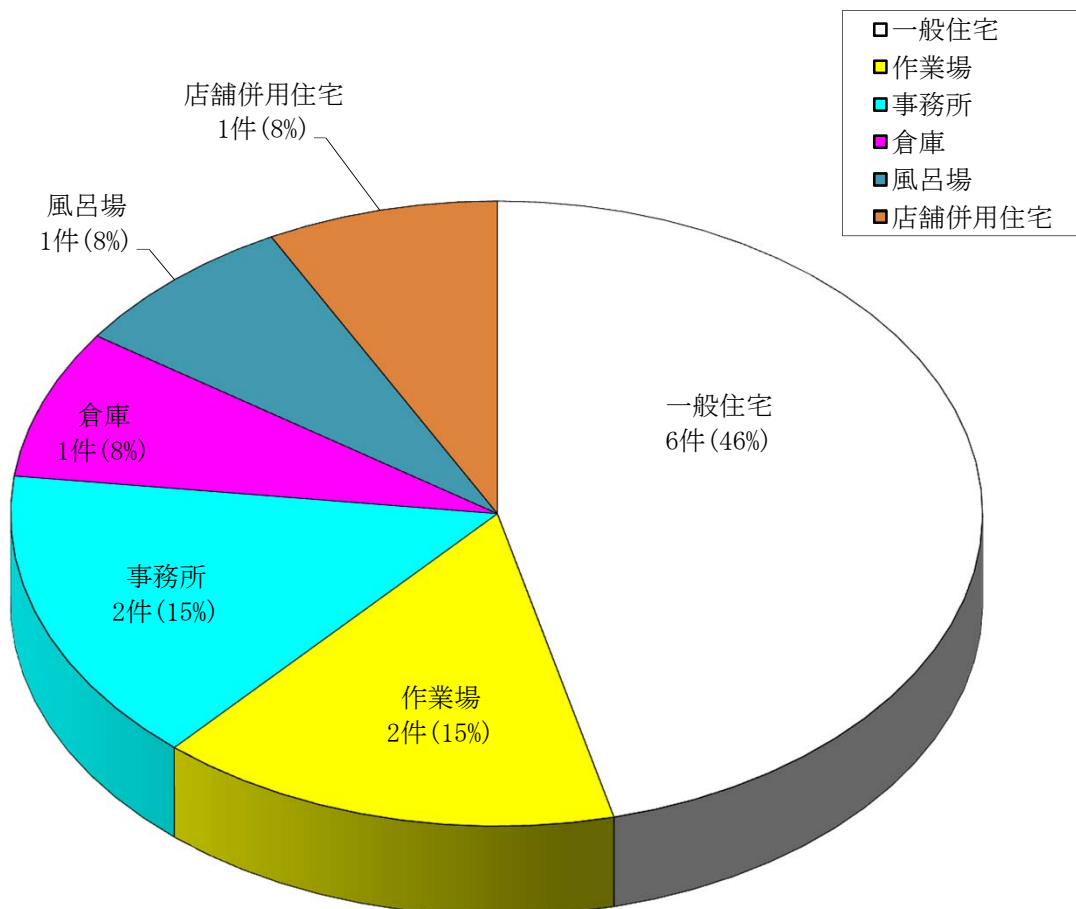
建物用途別火災発生状況（火元）

（平成25年）

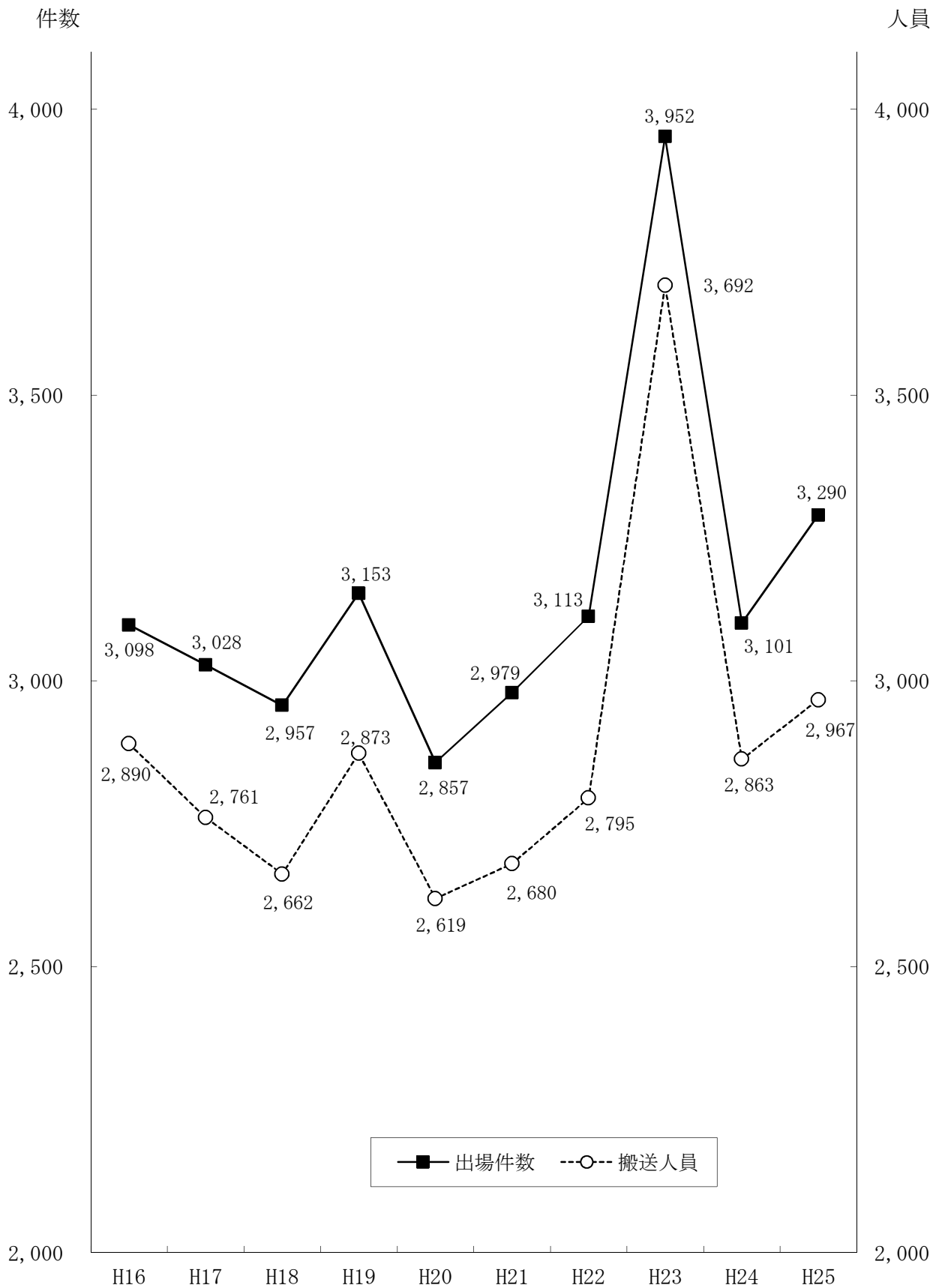
用途別 区 分	出 火 件 数					焼損面積 (㎡)	損 害 額 (千円)
	合 計	全 焼	半 焼	部分焼	ぼ や		
一 般 住 宅	6	1	1		4	388	12,968
作 業 場	2			1	1	27	4,959
事 務 所	2				2		2
倉 庫	1	1				36	1,630
風 呂 場	1	1				13	166
店 舗 併 用 住 宅	1				1		145
合 計	13	3	1	1	8	464	19,870

※件数及び用途別については火元用途による。

※類焼の損害額については火元用途に含む。



救 急 活 動 の 推 移



月別事故別活動状況

(平成25年)

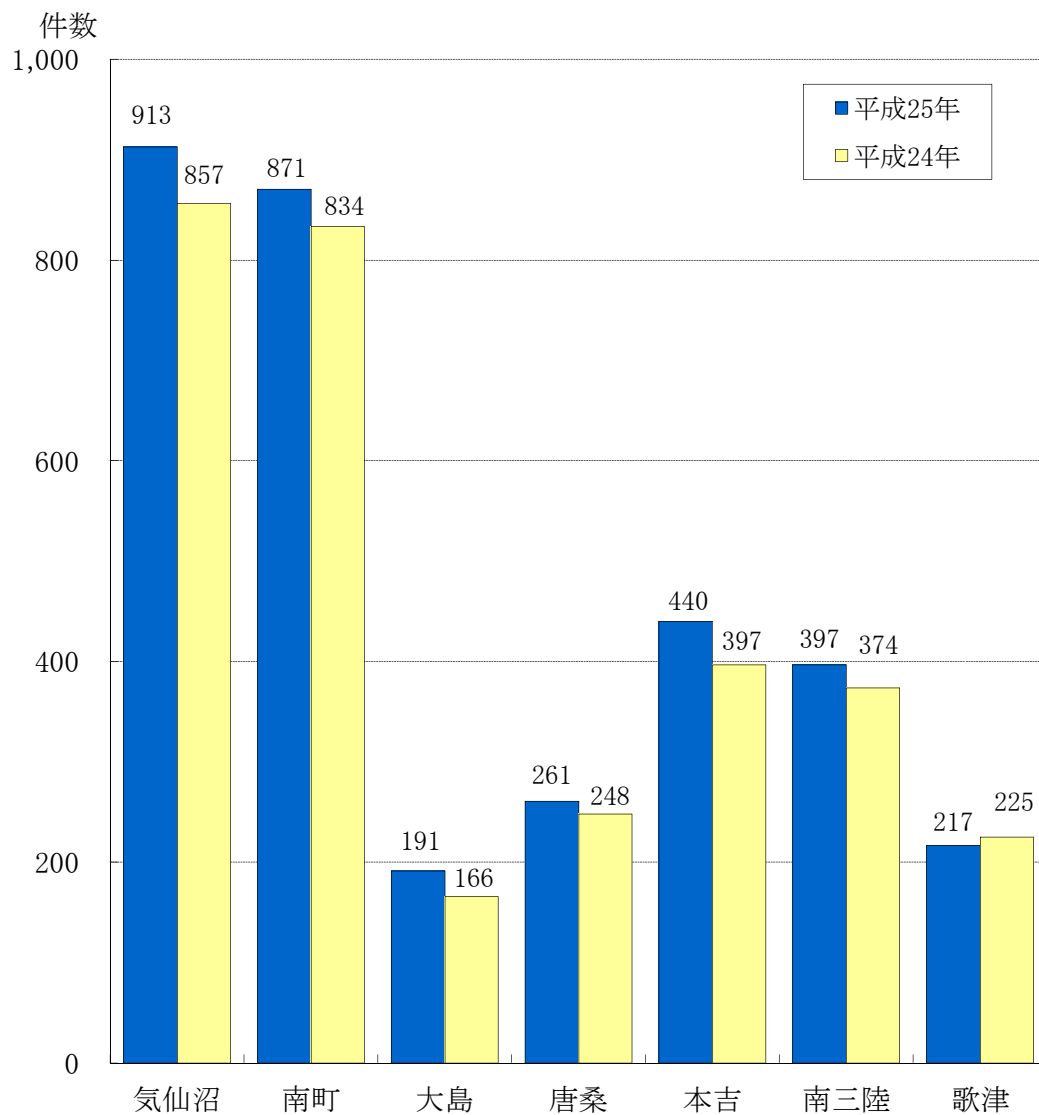
月	事故種別 区分	合 計	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他
1	出場件数	312				17	3	2	41		5	197	47
	搬送人員	282				18	3	1	36		3	177	44
2	出場件数	262	1			14	2		34		2	172	37
	搬送人員	243	2			13	2		29		1	160	36
3	出場件数	270		1	1	11	2	2	28	2	4	177	42
	搬送人員	253		1	1	17	2	1	27	1	3	159	41
4	出場件数	250				20	4	4	34	1	2	147	38
	搬送人員	226				22	4	4	30	1	2	127	36
5	出場件数	266				20	7	2	26		7	180	24
	搬送人員	238				19	7	2	23		6	157	24
6	出場件数	254				25	3	1	25		2	168	30
	搬送人員	236				31	3	1	22		1	152	26
7	出場件数	265			1	19	6	3	34	2	4	158	38
	搬送人員	232				21	5	3	29	2	3	133	36
8	出場件数	315		1		24	8	2	32		2	215	31
	搬送人員	284		1		27	8	2	27		2	190	27
9	出場件数	277		1		22	5	4	37	1	3	170	34
	搬送人員	256		1		24	5	2	34	1	3	153	33
10	出場件数	256				22	6		33	1	1	160	33
	搬送人員	227				23	6		27	2	1	138	30
11	出場件数	299				21	10	1	46		5	181	35
	搬送人員	265				22	10	1	43		5	153	31
12	出場件数	264				18	10	1	35	1	2	160	37
	搬送人員	225				19	9	1	28	1		134	33
合 計	出場件数	3,290	1	3	2	233	66	22	405	8	39	2,085	426
	搬送人員	2,967	2	3	1	256	64	18	355	8	30	1,833	397

署 所 別 事 故 別 活 動 状 況

(平成25年)

事故種別 署所別			合 計	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他
気 仙 沼	25年	出場件数	913				68	19	6	117	2	12	584	105
		搬送人員	866				72	19	5	109	3	11	542	105
	24年	出場件数	857				75	16	5	136	2	10	518	95
		搬送人員	824				98	16	5	127	2	6	477	93
南 町	25年	出場件数	871	1	3	1	61	23	3	112	1	9	574	83
		搬送人員	832	2	3	1	67	23	3	101	1	6	543	82
	24年	出場件数	834				81	16	3	98	4	5	537	90
		搬送人員	803				98	16	4	91	3	3	499	89
大 島	25年	出場件数	191				2	1	5	27			131	25
		搬送人員	7						2				5	
	24年	出場件数	166				2		1	14	1		112	36
		搬送人員	14										14	
唐 桑	25年	出場件数	261				16	5	1	37	3	4	186	9
		搬送人員	245				22	5	1	35	2	3	168	9
	24年	出場件数	248			1	20	1	2	34	1	4	181	4
		搬送人員	243			1	22	1	2	33	1	3	176	4
本 吉	25年	出場件数	440			1	41	5	2	47	1	9	271	63
		搬送人員	417				47	5	2	46	1	5	251	60
	24年	出場件数	397				43	6	3	49	1	4	227	64
		搬送人員	385				52	6	3	49	1	2	209	63
南 三 陸	25年	出場件数	397				27	11	4	44		1	196	114
		搬送人員	390				31	10	4	44		1	186	114
	24年	出場件数	374	1		1	26	7	4	45	1	3	192	94
		搬送人員	372	1		1	29	7	4	48		3	185	94
歌 津	25年	出場件数	217				18	2	1	21	1	4	143	27
		搬送人員	210				17	2	1	20	1	4	138	27
	24年	出場件数	225		1		20	5	1	28		1	161	8
		搬送人員	222		1		22	5	1	27		1	157	8
合 計	25年	出場件数	3,290	1	3	2	233	66	22	405	8	39	2,085	426
		搬送人員	2,967	2	3	1	256	64	18	355	8	30	1,833	397
	24年	出場件数	3,101	1	1	2	267	51	19	404	10	27	1,928	391
		搬送人員	2,863	1	1	2	321	51	19	375	7	18	1,717	351

署 所 別 出 場 件 数



○ 署所別出場件数

出場件数 3,290 件に占める各署所ごとの割合

気仙沼消防署	913 件	(27.7 %)
南町出張所	871 件	(26.5 %)
大島出張所	191 件	(5.8 %)
唐桑出張所	261 件	(7.9 %)
本吉分署	440 件	(13.4 %)
南三陸消防署	397 件	(12.1 %)
歌津出張所	217 件	(6.6 %)

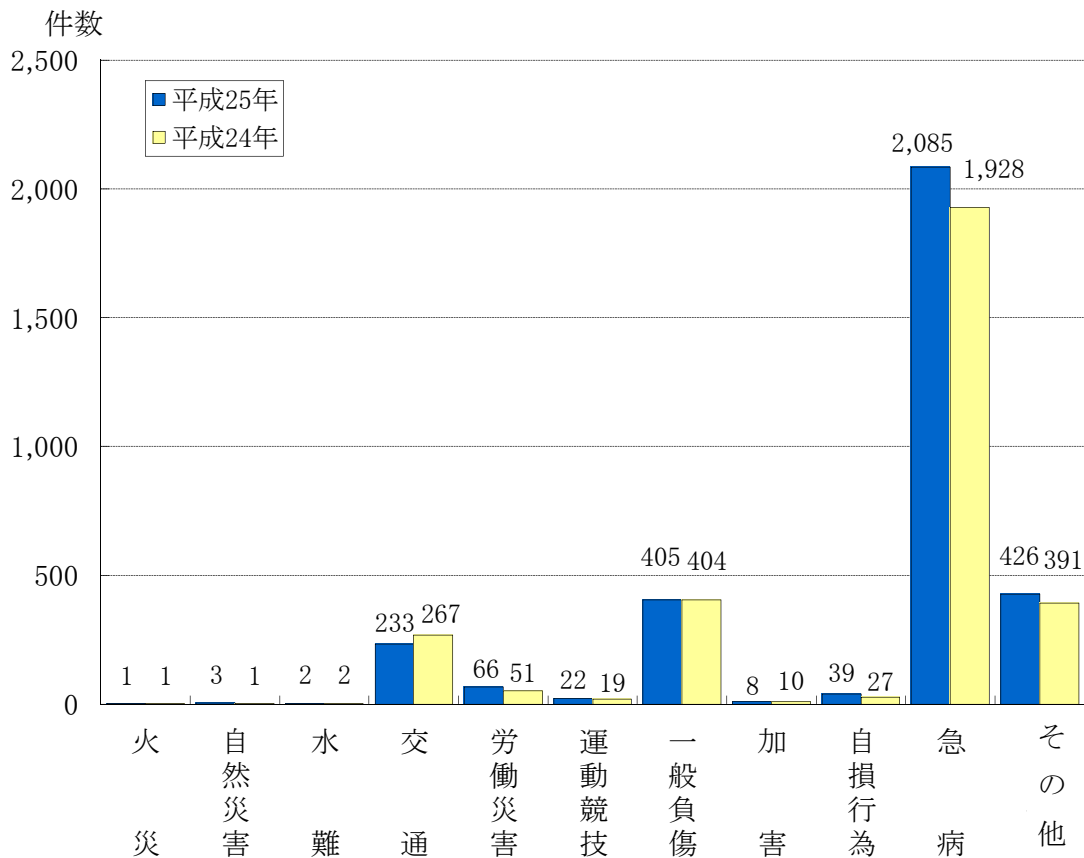
救急隊員が行った応急処置件数

(平成25年)

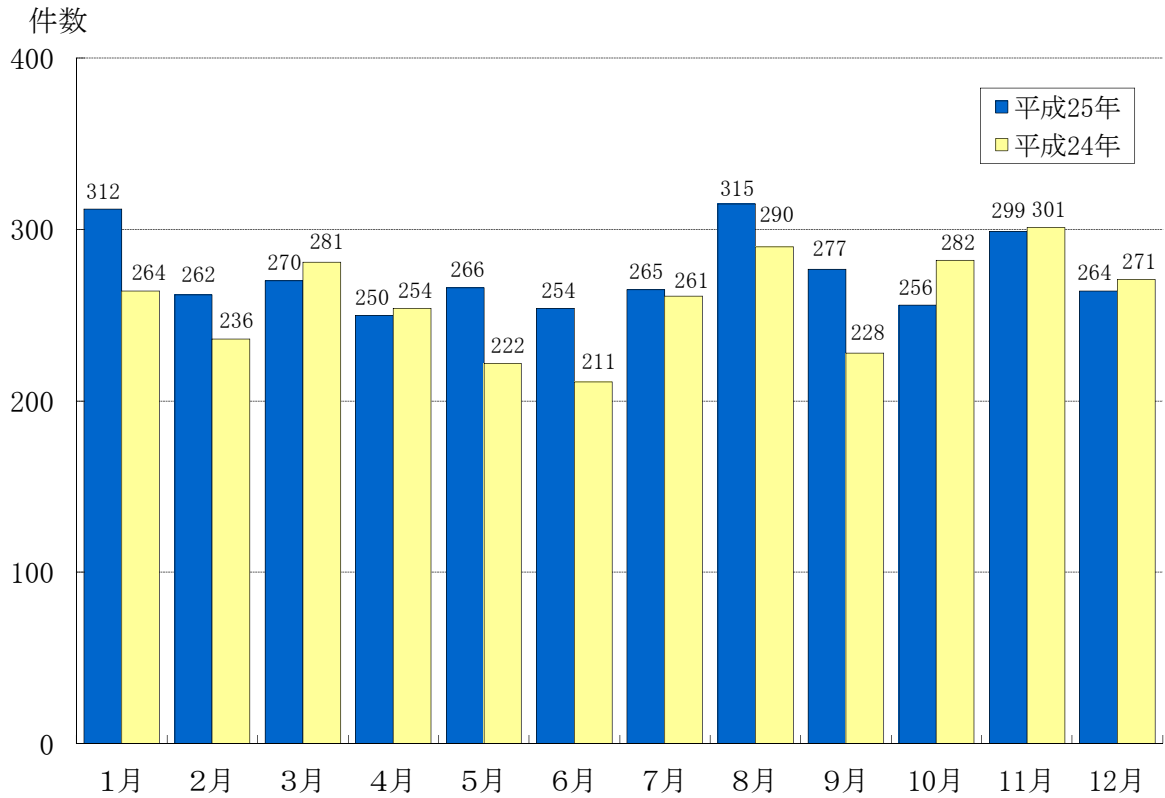
処置種別 事故種別	応対 急象 処人 置員	止 血	固 定	人 工 呼 吸	心 肺 蘇 生	酸 素 吸 入	気 道 確 保	保 温	被 覆	除 細 動	静 脈 路 確 保	薬 剤 投 与	血 圧 測 定	聴 診 器	血 中 酸 素	心 電 図	そ の 他	合 計
急 病	1,832	18	9	13	92	651	156	99	4	10	32	14	1,721	650	1,743	1,182	1,323	7,717
交通事故	255	17	163		3	31	4	18	41		1	1	245	92	251	47	105	1,019
一般負傷	355	61	107	1	17	44	18	13	89		8	3	333	64	341	71	210	1,380
そ の 他	522	20	39	5	10	177	22	32	39		4	1	505	140	509	191	330	2,024
合 計	2,964	116	318	19	122	903	200	162	173	10	45	19	2,804	946	2,844	1,491	1,968	12,140

※ 応急処置は症状により重複実施する場合がある。

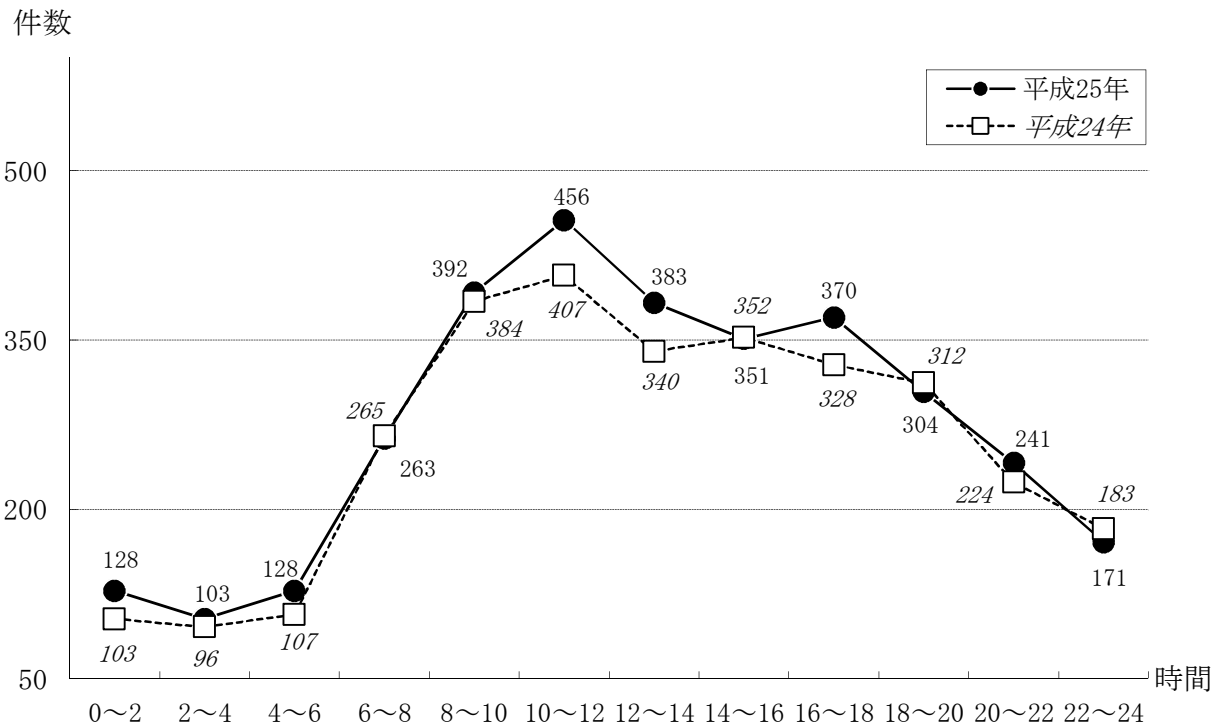
事 故 種 別 出 場 件 数



月 別 出 場 件 数



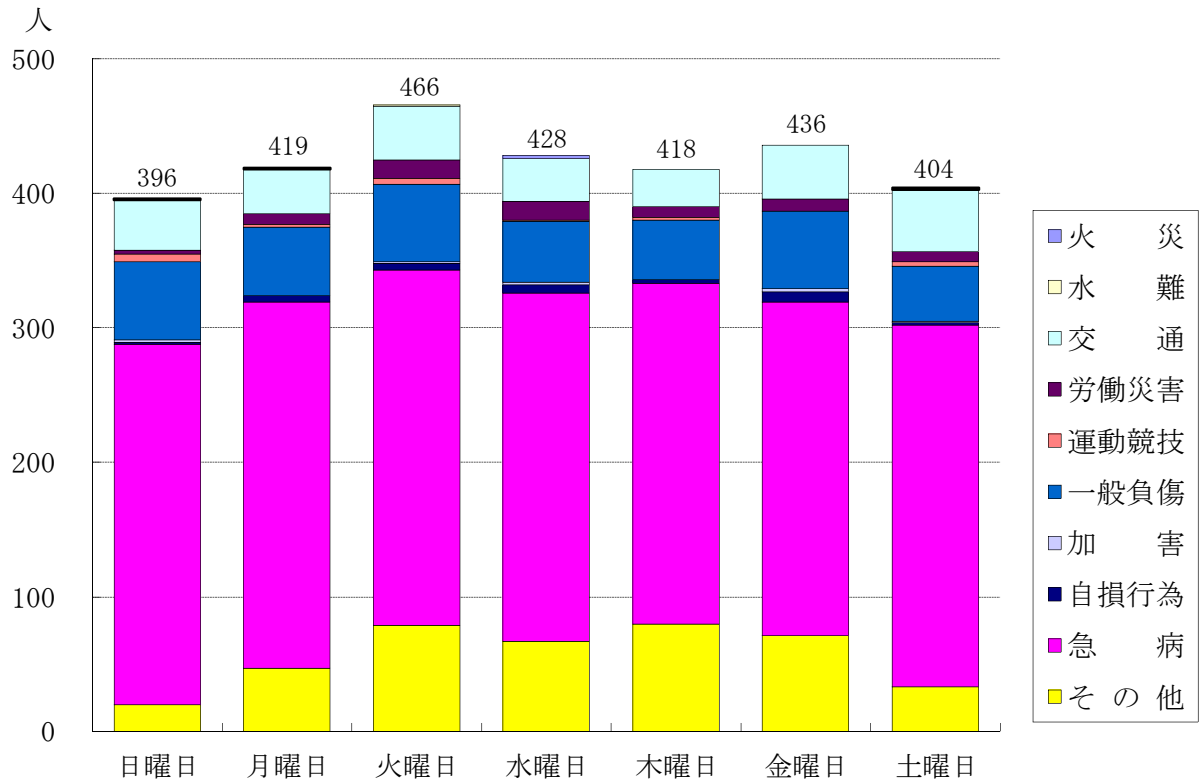
時 間 別 出 場 件 数



曜 日 別 搬 送 人 員

○ 曜日別搬送人員

曜日別搬送人員を比率で見ると、火曜日が最も多く15.7%、次いで金曜日14.7%、以下水曜日14.4%、月曜日14.1%、木曜日14.1%、土曜日13.6%、日曜日13.3%の順となっている。



曜 日 事故種別	計	日	月	火	水	木	金	土
火 災	2				2			
自 然 災 害	3	1	1					1
水 難	1			1				
交 通	256	37	33	40	32	28	40	46
労 働 災 害	64	3	8	14	14	8	9	8
運 動 競 技	18	6	2	4	1	2		3
一 般 負 傷	355	58	51	58	45	44	58	41
加 害	8	2		1	2		2	1
自 損 行 為	30	1	5	5	6	3	8	2
急 病	1,833	268	272	264	259	253	248	269
そ の 他	397	20	47	79	67	80	71	33
合 計	2,967	396	419	466	428	418	436	404

傷病程度別搬送人員

○ 傷病程度別搬送人員

傷病者の傷病程度を見ると、

救急搬送人員 2, 967 人のうち、中等症が最も多く 1, 420 人 (47. 9 %)

軽 症 1, 032 人 (34. 8 %)

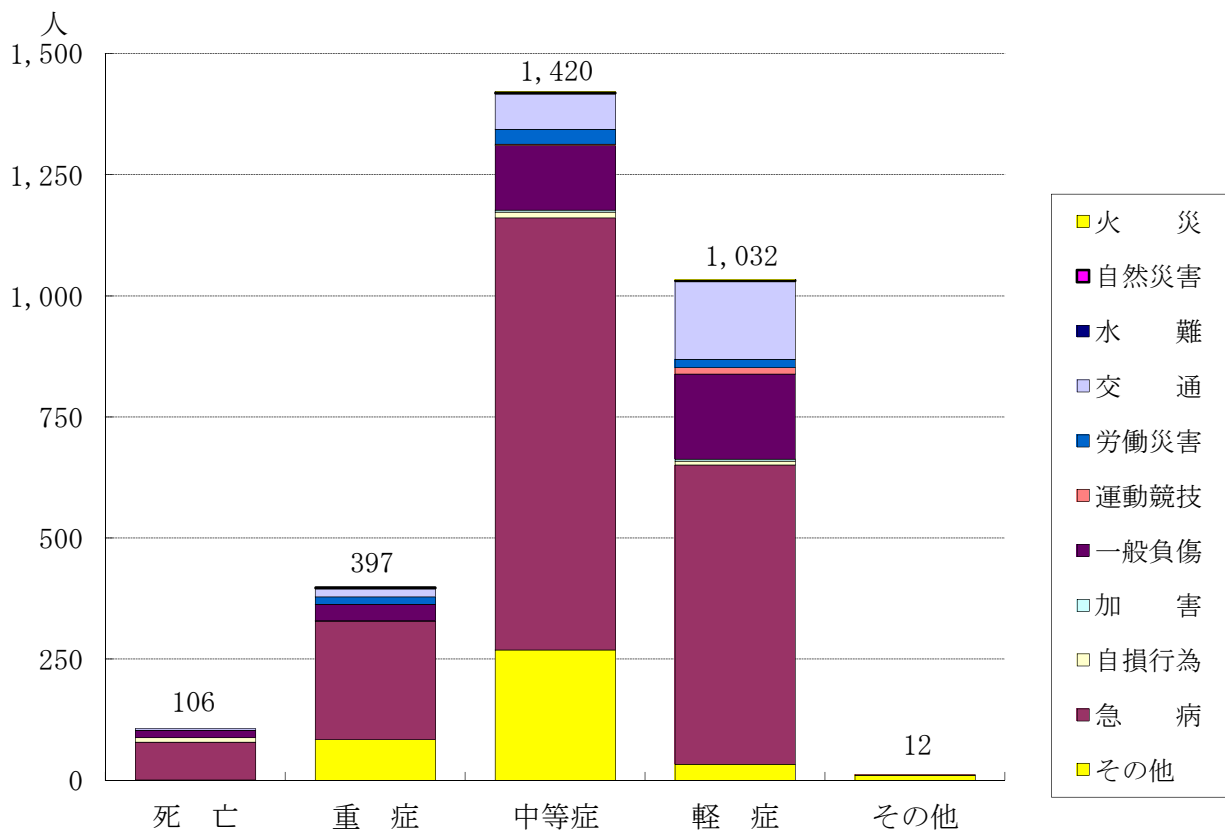
重 症 397 人 (13. 4 %)

死 亡 106 人 (3. 6 %)

その他 12 人 (0. 4 %)

の順になっている。

事故種別 傷病程度	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
死 亡				4			14		9	78	1	106
重 症		1		17	16		33		1	245	84	397
中等症	1	1	1	74	30	3	133	4	12	892	269	1,420
軽 症	1	1		161	18	13	175	4	8	618	33	1,032
その他						2					10	12
合 計	2	3	1	256	64	18	355	8	30	1,833	397	2,967



年 齢 別 搬 送 人 員

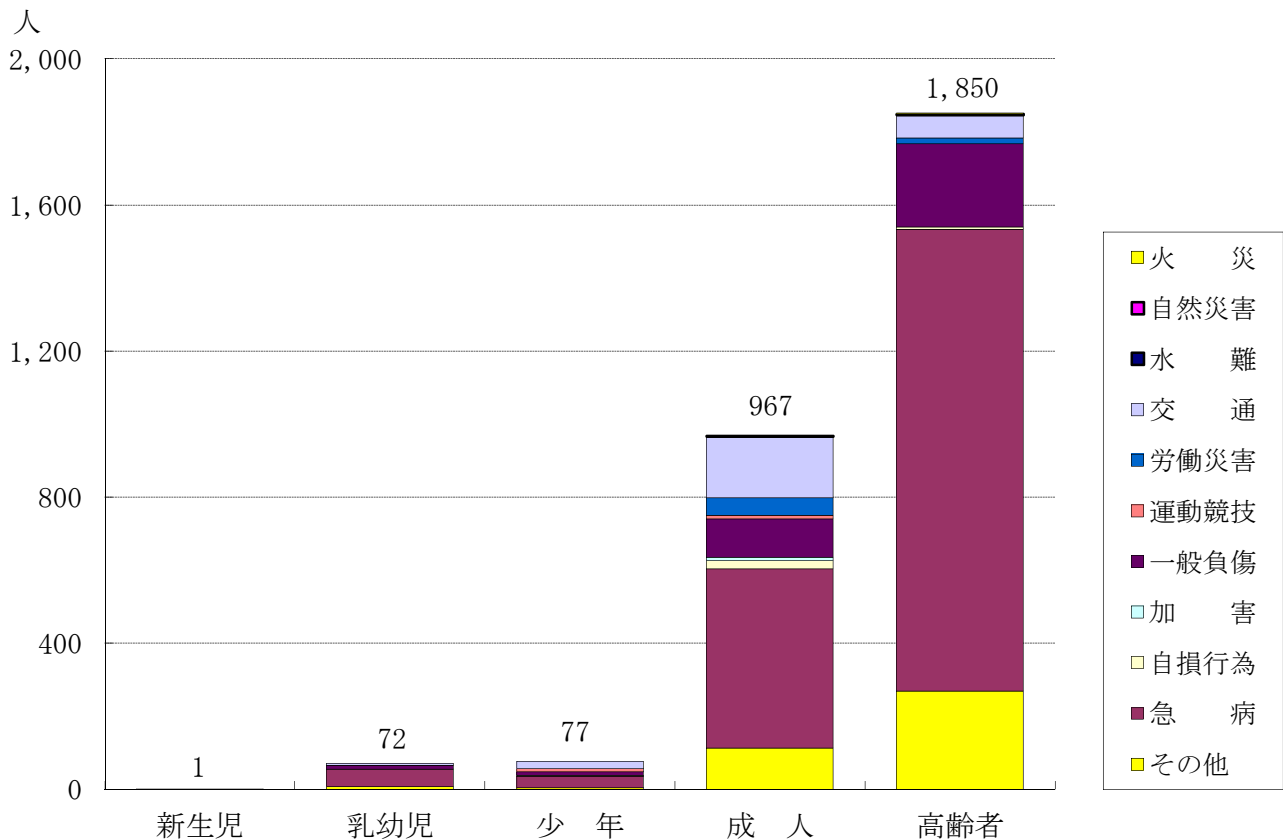
○ 年齢別搬送人員

搬送人員 2, 9 6 7 人のうち、

新生児(生後28日未満) 1 人(0.0%) 乳幼児(生後28日～7歳未満) 72 人(2.4%)
 少 年(7歳～18歳未満) 77 人(2.6%) 成 人(18歳～65歳未満) 967 人(32.6%)
 高齢者(65歳以上) 1,850 人(62.4%)

をそれぞれ搬送した。

事故種別 年 齢 別	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	計
合 計	2	3	1	256	64	18	355	8	30	1,833	397	2,967
新 生 児 (生 後 28 日 未 満)											1	1
乳 幼 児 (生後28日～7歳未満)				6			11			47	8	72
少 年 (7 歳 ～ 18 歳 未 満)				20		9	10		1	32	5	77
成 人 (18 歳 ～ 65 歳 未 満)		2		167	49	9	105	8	23	490	114	967
高 齢 者 (65 歳 以 上)	2	1	1	63	15		229		6	1,264	269	1,850



医療機関別搬送人員

(平成25年)

告示別		事故種別		急病		交通		一般負傷		その他		計	
		開設者別		うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外				
救急告示医療機関	国立		1	1					6	6	7	7	
	公立		1,339	24	136	5	253	9	308	14	2,036	52	
	公的		78	78	19	19	12	12	72	72	181	181	
	私 的	病院	29	14	72		38	1	19	10	158	25	
		診療所											
計			1,447	117	227	24	303	22	405	102	2,382	265	
その他の医療機関	国立												
	公立		252	20	23		40	1	83	74	398	95	
	公的												
	私 的	病院	104				6		17	1	127	1	
		診療所	30	1	6		6		6	3	48	4	
計			386	21	29		52	1	106	78	573	100	
計	国立		1	1					6	6	7	7	
	公立		1,591	44	159	5	293	10	391	88	2,434	147	
	公的		78	78	19	19	12	12	72	72	181	181	
	私 的	病院	133	14	72		44	1	36	11	285	26	
		診療所	30	1	6		6		6	3	48	4	
計			1,833	138	256	24	355	23	511	180	2,955	365	
その他の場所	接骨院他												
	その他								12	6	12	6	
	計								12	6	12	6	
合計			1,833	138	256	24	355	23	523	186	2,967	371	

不搬送等状況

不搬送理由	件数
合計	372
緊急性なし	48
傷病者なし	8
拒否	39
酩酊	4
死	38
現場処置	192
誤報・いたずら	2
その他	41

診療科目別搬送人員

診療科目別	搬送人員
合計	2,967
外科	175
内科	1,218
脳神経外科	442
循環器科	281
呼吸器科	89
消化器科	26
整形外科	488
小児科	79
泌尿器科	47
産婦人科	24
精神神経科	41
耳鼻咽喉科	34
眼科	3
皮膚科	7
その他の科	1
その他の場所	12

転送回数別搬送人員

転送回数	搬送人員
合計	2,967
0回	2,908
1回	59
2回以上	0

応急手当講習受講者状況

内訳 年	普通救命講習Ⅰ	普通救命講習Ⅱ	普通救命講習Ⅲ	上級救命講習	救命入門コース	合計
平成25年	1,747	20	64	34	241	2,106
平成24年	1,504	30	140	58	213	1,945
平成23年	781	13		39		833
平成22年	1,862	39		0		1,901

覚知別出場件数

覚知別	出場件数
合計	3,290
119番	2,859
警察電話	32
加入電話	335
駆け付け	49
その他	15

- ・普通救命講習Ⅰ：180分講習・心肺蘇生法，AEDの使用法，異物除去法，止血法
- ・普通救命講習Ⅱ：240分講習・普通救命講習Ⅰに加え，効果確認及び筆記・実技試験
- ・普通救命講習Ⅲ：180分講習・小児，乳児の心肺蘇生法，AEDの使用法，異物除去法，止血法
- ・上級救命講習：480分講習・普通救命講習Ⅰ～Ⅲに加え，その他の応急手当
- ・救命入門コース：90分講習・心肺蘇生法，AEDの使用法

※普通救命講習Ⅲ及び救命入門コースは平成24年から開始



防災センター



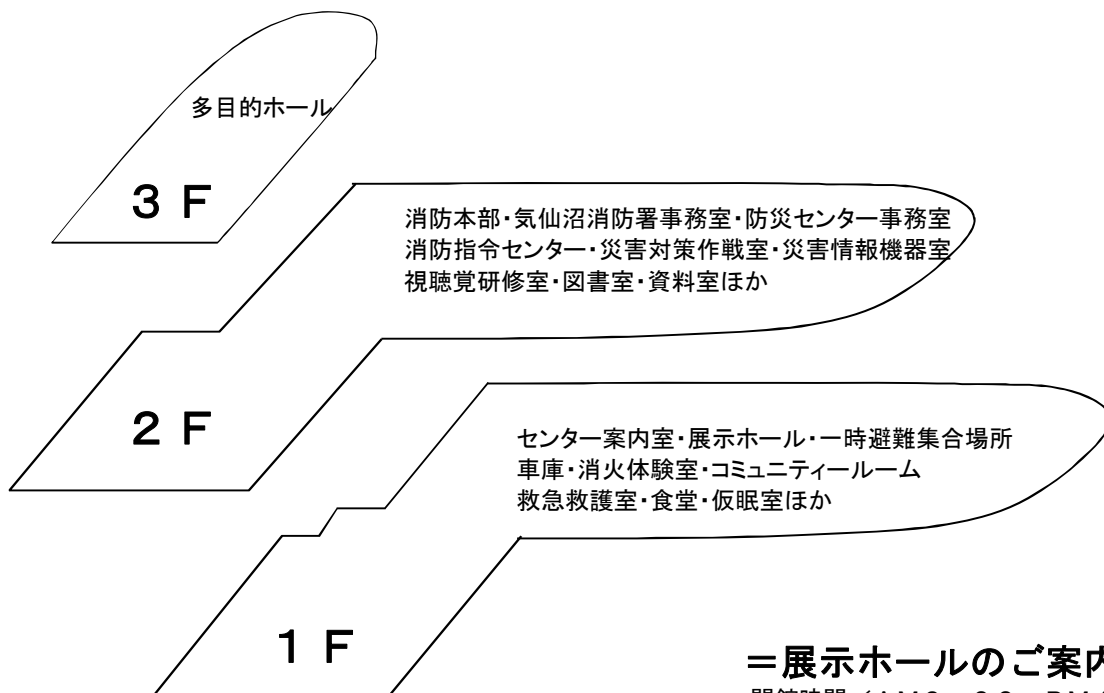
施設見学・体験学習(気仙沼市立小泉小学校)

防災センターの概要

「気仙沼・本吉広域防災センター」は、消防本部・消防署との合築の施設で国土庁と宮城県の補助を受け、平成6年4月1日にオープンしました。

平常時は、地震・煙・消火等の体験学習や各種展示を通じて防災行動力・防災知識等の向上を図ります。

また、災害時には、災害対策活動の拠点として1市1町や関係機関等への情報提供や連絡調整等を行う一方、一次避難場所等としても利用されます。



その他、敷地内には災害時に備えたヘリポートや備蓄倉庫、訓練塔があります。

＝展示ホールのご案内＝

開館時間／AM9：00～PM4：00

休 館 日／月曜日・年末年始(12/28～1/7)



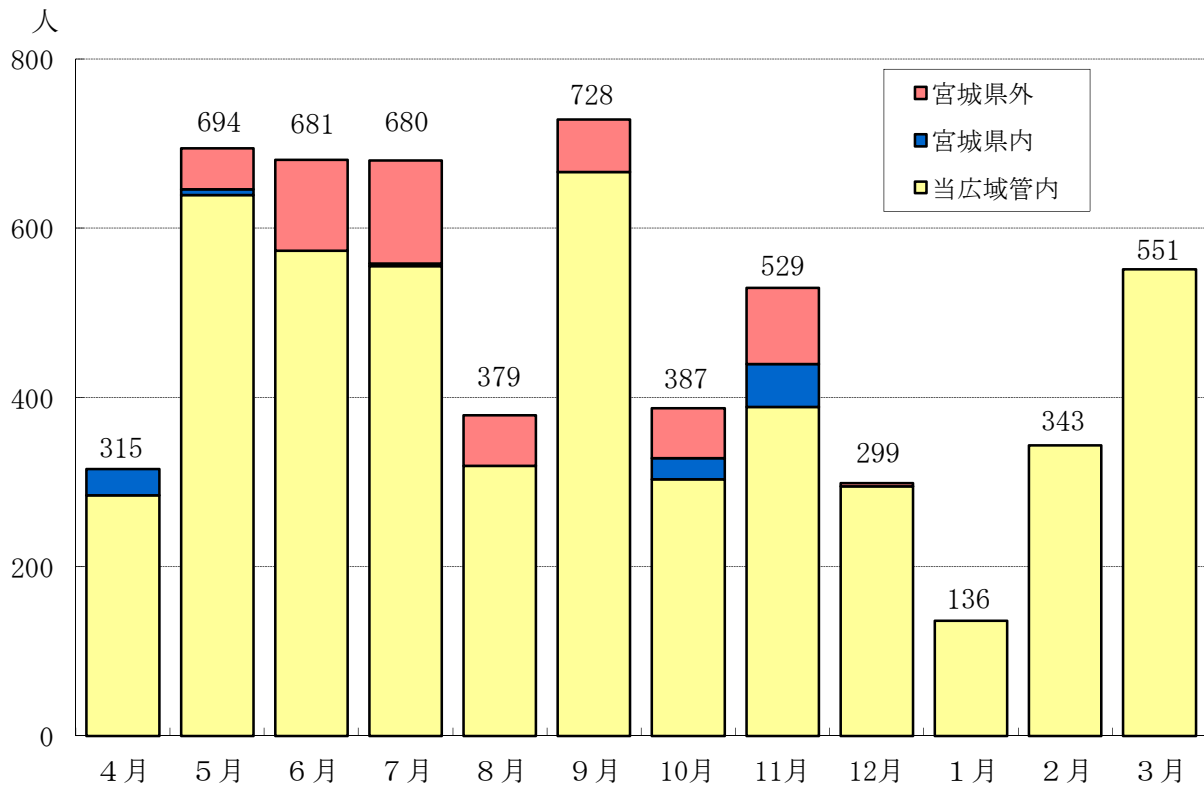
■センター概要

- 敷地面積／5,225.02㎡ 延べ床面積／2,981.4㎡
(他に、備蓄倉庫／299.95㎡, 訓練塔／299.75㎡)

月 別 ・ 地 域 別 利 用 状 況

(平成25年度) (単位：人)

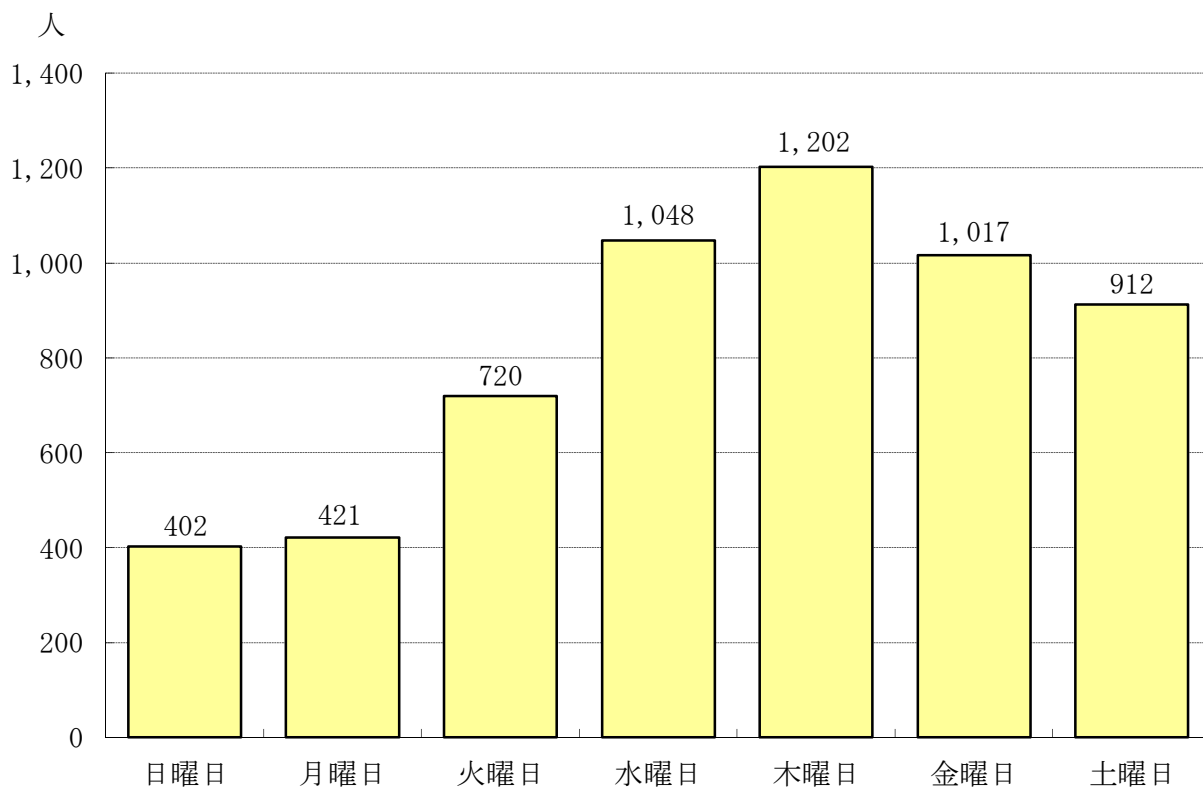
	当 広 域 管 内	宮 城 県 内	宮 城 県 外	合 計
4 月	284	31		315
5 月	639	7	48	694
6 月	573		108	681
7 月	555	3	122	680
8 月	319		60	379
9 月	666		62	728
10 月	303	25	59	387
11 月	389	50	90	529
12 月	295		4	299
1 月	136			136
2 月	343			343
3 月	551			551
合 計	5,053	116	553	5,722
24年度計	6,318	26	666	7,010
前年度比較	△ 1,265	90	△ 113	△ 1,288
開館以来累計	146,269	10,335	14,590	171,194



月 別 ・ 曜 日 別 利 用 状 況

(平成25年度) (単位：人)

	日	月	火	水	木	金	土	合 計
4 月	1	21	69	61	96	56	11	315
5 月	19	17	68	164	204	127	95	694
6 月	65	15	25	111	146	76	243	681
7 月	97	94	58	178	102	68	83	680
8 月	1	1	92	54	32	49	150	379
9 月	17	66	72	119	282	118	54	728
10 月	15	0	51	62	21	168	70	387
11 月	21	0	59	115	182	71	81	529
12 月	0	0	104	45	35	80	35	299
1 月	0	55	30	25	10	1	15	136
2 月	50	21	62	65	33	72	40	343
3 月	116	131	30	49	59	131	35	551
合 計	402	421	720	1,048	1,202	1,017	912	5,722
24年度計	466	865	1,381	1,476	1,282	1,265	275	7,010
前年度比較	△ 64	△ 444	△ 661	△ 428	△ 80	△ 248	637	△ 1,288
開館以来累計	22,568	16,129	27,565	30,578	31,788	30,885	11,681	171,194



利 用 者 別 状 況

(平成25年度)

団 体 名 等	団 体 数	人 数
幼 年 消 防 ク ラ ブ	1	34
少 年 消 防 ク ラ ブ	1	5
婦 人 防 火 ク ラ ブ	3	90
危険物安全協会・防火管理者協会	4	112
消 防 団	31	781
行 政 機 関	102	2,100
自 治 会 等	5	107
救 急 救 命 指 導 講 習	35	623
上 記 以 外 (見 学 ・ 体 験 等)		1,870
合 計	182	5,722

主 な 備 蓄 品

(平成26年3月31日現在)

品 名	数 量	備 考
毛 布	280枚	
布 団	25組	
ポ リ 容 器	100組	
非 常 食	8,920食	乾燥餅 (4,560) 乾パン (2,560) アルファ米 (600) カロリーメイト1,200)
応 急 処 置 セ ッ ト	6セット	
担 架	7台	
防 災 ト イ レ	1基	
既設トイレ用簡易トイレ	1000回分	
シ ー ト	45枚	大 (10m×10m) 15、中30
タ オ ル	200枚	
軍 手	6ダース	
メ ガ ホ ン	5個	サイレン付き
防 災 リ ヤ カ ー	4台	ワンタッチ(2)、折りたたみ(1) 救護車担架付(1)
ア ル ミ カ ー ト	2台	折りたたみ式
災 害 ツ ー ル	1式	

※備蓄品については、年次計画により購入。

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部

〒988-0104

宮城県気仙沼市赤岩五駄鱈43番地2

TEL 0226-22-6688

FAX 0226-22-0119

E-mail: soumu@km-fire.jp